

2020年度 シラバス

開講年度	課程	学科	学年
2020	職業実践専門課程	美容学科	1年前期
科目名	担当教員		時間数
関係法規	菅野 みゆき		15時間
授業科目の学修教育目標			
概要	美容師の業務に関する衛生法規・制度及び消費者保護法規・制度について、正しい知識を習得しておかなければならない必要性を理解させ、併せて、公衆衛生を担う美容師の社会的責務、職業倫理について、自覚を促す。美容の業務に関する規定内容を正確に理解させるとともに、衛生法規が美容業を行う場合の指針として有する意義を把握させる。		
目標	美容師としての必要な基礎知識を学ぶ。衛生面の知識を身につける。		
成績評価方法	1)成績評価はA～Eの5段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)		
授業の方法と特徴	講義		
授業内容			
1	オリエンテーション		
2	社会生活における法の役割	社会の仕組みと法の役割、意義	
3	法の形式	憲法、条約、法律	
4	法の形式	命令、条例、自治法規	
5	衛生法規の概要	衛生法規の意義と必要性	
6	衛生法規の概要	衛生法規の分類と生活衛生法規	
7	衛生行政の概要	衛生行政の意義、およびその必要性和重要性	
8	衛生行政の概要	衛生行政の分類と生活衛生行政	
9	衛生行政の概要	衛生行政を担う行政機関とその役割	
10	美容師法の概要	目的と用語の定義	
11	美容師法の概要	美容師に関する規定、国家試験制度と免許	
12	美容師法の概要	美容所に関する規定	
13	美容師法の概要	立入検査と環境衛生監視員	
14	美容師法の概要	行政処分	
15	まとめ		

2020年度 シラバス

開講年度	課程	学科	学年
2020	職業実践専門課程	美容学科	2年後期
科目名	担当教員		時間数
関係法規	菅野 みゆき		15時間
授業科目の学修教育目標			
概要	美容師の業務に関する衛生法規・制度及び消費者保護法規・制度について、正しい知識を習得しておかなければならない必要性を理解させ、併せて、公衆衛生を担う美容師の社会的責務、職業倫理について、自覚を促す。美容の業務に関する規定内容を正確に理解させるとともに、衛生法規が美容業を行う場合の指針として有する意義を把握させる。		
目標	美容師としての必要な基礎知識を学ぶ。衛生面の知識を身につける。		
成績評価方法	1)成績評価はA～Eの5段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)		
授業の方法と特徴	講義		
授業内容			
1	関係法規	美容業の運営・衛生に関する法律	
2	関係法規	美容業の顧客に関する法律	
3	社会生活における法の役割	復習、過去問	
4	法の形式	復習、過去問	
5	衛生法規の概要	復習、過去問	
6	衛生行政の概要	復習、過去問	
7	美容師法の概要	復習、過去問	
8	美容師法の概要	復習、過去問	
9	関係法規	復習、過去問	
10	まとめ	復習、過去問	
11	まとめ	復習、過去問	
12	まとめ	復習、過去問	
13	まとめ	復習、過去問	
14	まとめ	復習、過去問	
15	まとめ	復習、過去問	

2020年度 シラバス

開講年度	課程	学科	学年
2020	職業実践専門課程	美容学科	1年前期・後期
科目名	担当教員		時間数
文化論	佐々木みゆき		30時間
授業科目の学修教育目標			
概要	ライフスタイルが多様化した現代において、価値観や美意識も多様化してきている。今までの歴史を振り返り、時代背景と生活スタイルや流行のデザイン等がどのように関わってきたかを学ぶことで今求められている「美しさ」の意味を知る。		
目標	美容業の使命の1つが、より優れた人間美の創造、実現にあることによく認識させ、この使命の達成のために必要な美的感覚を身につけ、これを洗練し、芸術的な表現力と鑑賞力を養う。美容の業務を全うするためには、確かな技術力を身につけるとともに、豊かな感性に裏打ちされた優れた表現力を養うことが必要であることを自覚させる。		
成績評価方法	1)成績評価はA～Eの5段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)		
授業の方法と特徴	講義		
1	オリエンテーション	総論	
2	日本の美容業の歴史	美容業の発生と江戸時代の美容業	
3	日本の美容業の歴史	近代・現代の美容業	
4	ファッション文化史・日本	縄文・弥生・古墳時代	
5	ファッション文化史・日本	縄文・弥生・古墳時代	
6	ファッション文化史・日本	飛鳥・奈良・平安時代	
7	ファッション文化史・日本	飛鳥・奈良・平安時代	
8	ファッション文化史・日本	髪結床について	
9	ファッション文化史・日本	平安末期・鎌倉・室町・戦国時代	
10	ファッション文化史・日本	平安末期・鎌倉・室町・戦国時代	
11	ファッション文化史・日本	戦国末期・安土桃山時代	
12	ファッション文化史・日本	江戸時代	
13	ファッション文化史・日本	江戸時代	
14	ファッション文化史・日本	江戸時代	
15	ファッション文化史・日本	復習	
16	ファッション文化史・日本	明治・大正・昭和20年まで	
17	ファッション文化史・日本	明治・大正・昭和20年まで	
18	ファッション文化史・日本	明治・大正・昭和20年まで	
19	ファッション文化史・日本	現代1945～1950年代	
20	ファッション文化史・日本	現代1945～1950年代	
21	ファッション文化史・日本	現代1960～1970年代	
22	ファッション文化史・日本	現代1960～1970年代	
23	ファッション文化史・日本	現代1980～1990年代	
24	ファッション文化史・日本	現代1980～1990年代	
25	ファッション文化史・日本	現代2000年代以降	
26	ファッション文化史・日本	現代2000年代以降	
27	ファッション文化史・西洋	古代エジプト	
28	ファッション文化史・西洋	古代ギリシャ・ローマ	
29	ファッション文化史・西洋	古代ゲルマン	
30	ファッション文化史・西洋	復習	

2020年度 シラバス

開講年度	課程	学科	学年
2020	職業実践専門課程	美容学科	2年前期・後期
科目名	担当教員		時間数
文化論	佐々木みゆき		30時間
授業科目の学修教育目標			
概要	ライフスタイルが多様化した現代において、価値観や美意識も多様化してきている。今までの歴史を振り返り、時代背景と生活スタイルや流行のデザイン等がどのように関わってきたかを学ぶことで今求められている「美しさ」の意味を知る。		
目標	美容業の使命の1つが、より優れた人間美の創造、実現にあることによく認識させ、この使命の達成のために必要な美的感覚を身につけ、これを洗練し、芸術的な表現力と鑑賞力を養う。美容の業務を全うするためには、確かな技術力を身につけるとともに、豊かな感性に裏打ちされた優れた表現力を養うことが必要であることを自覚させる。		
成績評価方法	1)成績評価はA～Eの5段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)		
授業の方法と特徴	講義		
1	ファッション文化史・西洋	中世ヨーロッパ	
2	ファッション文化史・西洋	中世ヨーロッパ	
3	ファッション文化史・西洋	近世(16世紀)	
4	ファッション文化史・西洋	近世(17世紀)	
5	ファッション文化史・西洋	近世(18世紀)	
6	ファッション文化史・西洋	近代(18世紀末～19世紀初め)	
7	ファッション文化史・西洋	近代(19世紀)	
8	ファッション文化史・西洋	現代1910～1920年代	
9	ファッション文化史・西洋	現代1930～1940年代前半	
10	ファッション文化史・西洋	現代1940年代後半～1950年代	
11	ファッション文化史・西洋	現代1960年代	
12	ファッション文化史・西洋	現代1970年代	
13	ファッション文化史・西洋	現代1980年代	
14	ファッション文化史・西洋	現代1990～2010年	
15	まとめ	復習	
16	礼装の種類	和装の礼装	
17	礼装の種類	洋装の礼装	
18	ファッションの造形原理	ファッションとは	
19	ファッションの造形原理	理容・美容のデザイン	
20	ファッションの造形原理	理容・美容のデザイン	
21	ファッションの造形原理	色彩コーディネート	
22	ファッションの造形原理	色彩コーディネート	
23	ファッションの造形原理	色彩コーディネート	
24	まとめ	復習	
25	まとめ	復習	
26	まとめ	復習	
27	まとめ	復習	
28	まとめ	復習	
29	まとめ	復習	
30	まとめ	復習	

2020年度 シラバス

開講年度	課程	学科	学年
2020	職業実践専門課程	美容学科	1年前期・後期
科目名	担当教員		時間数
衛生管理	大竹 政明		50時間
授業科目の学修教育目標			
概要	美容師にとっても欠かすことのできない公衆衛生の様々な知識を身につける。そして、環境が自然や人々の健康に及ぼす影響を知り、社会の一員として適切に行動できるよう学習する。 また、不特定多数の人が利用する施設における衛生上の危害を防止する為、感染症の知識を学ぶ。また、感染を防止するための消毒法を学ぶ。		
目標	公衆衛生の意義と本質とを明らかにすることによって、美容師が公衆衛生の維持と増進について大きな責務を担っていることを理解させる。また、環境衛生の意義と目的について、美容師の業務と関連付けながら具体的に理解させる。美容師の業務内容と感染症予防、環境衛生の保持との具体的な関連付けを重視して美容における衛生措置の重要性について理解させる。特に美容器具などの消毒法は、美容業務の衛生性を担保する上で最も重要な技術であるので、その意義と原理について十分に理解させるとともに、その適正な実施方法を身につけさせる。		
成績評価方法	1)成績評価はA～Eの5段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)		
授業の方法と特徴	講義		
授業目録			
1	オリエンテーション	授業及び国試内容説明	
2	公衆衛生	公衆衛生の意義と課題のまとめ	
3	公衆衛生	公衆衛生の意義と課題のまとめ	
4	公衆衛生	欧米及び我が国の公衆衛生の歩み	
5	公衆衛生	欧米及び我が国の公衆衛生の歩み	
6	公衆衛生	理容・美容と公衆衛生	
7	公衆衛生	理容・美容と公衆衛生	
8	公衆衛生	保健所と美容業	
9	公衆衛生	保健所と美容業	
10	公衆衛生	予防医学	
11	公衆衛生	予防医学	
12	公衆衛生	出生率	
13	公衆衛生	出生率	
14	公衆衛生	母子保健	
15	公衆衛生	母子保健	
16	公衆衛生	死亡率・平均寿命	
17	公衆衛生	死亡率・平均寿命	
18	公衆衛生	精神保健	
19	公衆衛生	栄養と食物	
20	公衆衛生	栄養と食物	
21	公衆衛生	医療制度	
22	公衆衛生	医療制度	
23	環境衛生	介護保険	
24	環境衛生	環境衛生の概要	
25	環境衛生	環境衛生の概要	
26	環境衛生	環境衛生の目的と意義	
27	環境衛生	空気・水・日光	
28	環境衛生	空気・水・日光	
29	環境衛生	温度・湿度・気流・健康	
30	環境衛生	温度・湿度・気流・健康	
31	環境衛生	衣食住と健康	
32	環境衛生	衣食住と健康	
33	環境衛生	食品と衛生	
34	環境衛生	住居と衛生	
35	環境衛生	住居と衛生	
36	環境衛生	上下水道	
37	環境衛生	廃棄物・衛生害虫	
38	環境衛生	廃棄物・衛生害虫	
39	環境衛生	美容所の環境衛生	
40	感染症	公衆衛生まとめ	
41	感染症	人と感染症	
42	感染症	感染症の種類	
43	感染症	感染症の種類	
44	感染症	病原微生物の生活現象	
45	感染症	病原微生物の生活現象	
46	感染症	感染症の予防免疫と予防接種	
47	感染症	感染症の予防免疫と予防接種	
48	感染症	感染症発生の要因	
49	感染症	感染症予防の三原則	
50	感染症	まとめ	

2020年度 シラバス

開講年度	課程	学科	学年
2020	職業実践専門課程	美容学科	2年前期・後期
科目名	担当教員		時間数
衛生管理	大竹 政明		40時間
授業科目の学修教育目標			
概要	美容師にとっても欠かすことのできない公衆衛生の様々な知識を身につける。そして、環境が自然や人々の健康に及ぼす影響を知り、社会の一員として適切に行動できるよう学習する。 また、不特定多数の人が利用する施設における衛生上の危害を防止する為、感染症の知識を学ぶ。また、感染を防止するための消毒法を学ぶ。		
目標	公衆衛生の意義と本質とを明らかにすることによって、美容師が公衆衛生の維持と増進とについて大きな責務を担っていることを理解させる。また、環境衛生の意義と目的について、美容師の業務と関連付けながら具体的に理解させる。美容師の業務内容と感染症予防、環境衛生の保持との具体的な関連付けを重視して美容における衛生措置の重要性について理解させる。特に美容器具などの消毒法は、美容業務の衛生性を担保する上で最も重要な技術であるので、その意義と原理について十分に理解させるとともに、その適正な実施方法を身につけさせる。		
成績評価方法	1)成績評価はA～Eの5段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)		
授業の方法と特徴	講義		
1	感染症	オリエンテーション美容と感染症	
2	感染症	美容と感染症	
3	感染症	病原微生物と非病原微生物	
4	衛生管理技術	病原微生物と非病原微生物	
5	衛生管理技術	消毒法の歴史	
6	衛生管理技術	消毒法と適用上の注意	
7	衛生管理技術	希釈の計算	
8	衛生管理技術	希釈の計算	
9	衛生管理技術	消毒法各論(理学的消毒方法)	
10	衛生管理技術	消毒法各論(化学的消毒方法)	
11	衛生管理技術	すぐれた消毒法とその実施上の注意	
12	衛生管理技術	美容所の消毒の実際	
13	衛生管理技術	美容所の消毒の実際	
14	まとめ	公衆衛生	
15	まとめ	公衆衛生	
16	まとめ	公衆衛生	
17	まとめ	環境衛生	
18	まとめ	環境衛生	
19	まとめ	環境衛生	
20	まとめ	感染症	
21	まとめ	感染症	
22	まとめ	感染症	
23	まとめ	衛生管理技術	
24	まとめ	衛生管理技術	
25	まとめ	衛生管理技術	
26	まとめ	復習、過去問	
27	まとめ	復習、過去問	
28	まとめ	復習、過去問	
29	まとめ	復習、過去問	
30	まとめ	復習、過去問	
31	まとめ	復習、過去問	
32	まとめ	復習、過去問	
33	まとめ	復習、過去問	
34	まとめ	復習、過去問	
35	まとめ	復習、過去問	
36	まとめ	復習、過去問	
37	まとめ	復習、過去問	
38	まとめ	復習、過去問	
39	まとめ	復習、過去問	
40	まとめ	復習、過去問	

2020年度 シラバス

開講年度	課程	学科	学年
2020	職業実践専門課程	美容学科	1年前期・後期
科目名	担当教員		時間数
保健	小林 久子		50時間
授業科目の学修教育目標			
概要	人体組織の名前や構造、機能、特に皮膚及び毛髪などの構造と機能を学ぶ。		
目標	美容技術の基礎となる人体組織、また、皮膚及び毛髪などの皮膚付属器官の構造と機能に関する科学的、系統的な知識の習得を目的とする。美容の業務を安全かつ効果的に行うためには、皮膚、毛髪などに関する正確な科学的知識が不可欠であることを理解させる。		
成績評価方法	1)成績評価はA～Eの5段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)		
授業の方法と特徴	講義		
1	美容保健と美容師	人体各部の名称 位置や方向を説明する言葉	
2	美容保健と美容師	目とその周辺の体表解剖学	
3	美容保健と美容師	耳、鼻、口とその周辺の体表解剖学	
4	細胞と体液	細胞、組織、器官、系統	
5	細胞と体液	体液と血液について(赤血球まで)	
6	細胞と体液	白血球、血小板、血漿	
7	骨格器系	骨の種類と構造、骨の連結	
8	骨格器系	骨格器系とそのほたらき	
9	筋系	筋の種類とその特徴	
10	筋系	主な骨格筋とそのほたらき	
11	筋系	筋系復習	
12	神経系	中枢神経とそのほたらき	
13	神経系	末梢神経とそのほたらき	
14	神経系	神経系復習	
15	感覚器系	視覚、聴覚、平衡感覚	
16	感覚器系	味覚、嗅覚、皮膚・深部・内臓感覚	
17	感覚器系	血液循環の仕組み	
18	循環器系	リンパ管、脾臓	
19	循環器系	循環器系復習	
20	呼吸器系	呼吸器系のあらまし、気道(鼻腔、咽頭)	
21	呼吸器系	気道(咽頭・気管・気管支・肺)	
22	呼吸器系	呼吸運動、呼吸器系の保健	
23	消化器系	消化管について	
24	消化器系	消化酵素、肝臓の働き	
25	消化器系	消化器系	
26	泌尿器系	腎臓・尿管・膀胱・尿道	
27	内分泌器系	ホルモンとそのほたらき	
28	環境と生体	生理的・免疫的適応 免疫機構	
29	まとめ	まとめ	
30	まとめ	まとめ	
31	皮膚の構造	皮膚の表面、	
32	皮膚の構造	皮膚の断面、表皮 角化細胞、	
33	皮膚の構造	角素細胞、ランゲルハンス細胞	
34	皮膚の構造	表皮と真皮の境、真皮	
35	皮膚の構造	皮下組織、皮膚の部位差	
36	皮膚付属器官の構造	皮膚のまとめ、毛の構造	
37	皮膚付属器官の構造	毛の型と毛の成長周期、毛の型の変化	
38	皮膚付属器官の構造	毛の成長、毛の性状	
39	皮膚付属器官の構造	立毛筋、毛のまとめ	
40	皮膚付属器官の構造	脂腺、皮脂腺	
41	皮膚付属器官の構造	汗腺	
42	皮膚付属器官の構造	爪	
43	皮膚付属器官の構造	爪	
44	皮膚の構造循環器系と神経系	皮膚の血管、リンパ管	
45	皮膚の構造循環器系と神経系	皮膚の神経	
46	皮膚と付属器官の生理機能	対外保護作用、体温調節作用	
47	皮膚と付属器官の生理機能	知覚作用と皮膚反射、分泌排泄作用	
48	皮膚と付属器官の生理機能	呼吸作用、吸収作用	
49	皮膚と付属器官の生理機能	貯蔵作用、免疫・解毒・排除作用	
50	皮膚と付属器官の生理機能	ビタミンD形成作用、表情作用	

2020年度 シラバス

開講年度	課程	学科	学年
2020	職業実践専門課程	美容学科	2年前期・後期
科目名	担当教員		時間数
保健	佐々木 みゆき		40時間
授業科目の学修教育目標			
概要	人体組織の名前や構造、機能、特に皮膚及び毛髪などの構造と機能を学ぶ。		
目標	美容技術の基礎となる人体組織、また、皮膚及び毛髪などの皮膚付属器官の構造と機能に関する科学的、系統的な知識の習得を目的とする。美容の業務を安全かつ効果的に行うためには、皮膚、毛髪などに関する正確な科学的知識が不可欠であることを理解させる。		
成績評価方法	1)成績評価はA～Eの5段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)		
授業の方法と特徴	講義		
1	皮膚と付属器官の生理機能	毛と爪のはたらき	
2	皮膚と付属器官の保健	皮膚と全身状態・精神・嗜好品・体内病変	
3	皮膚と付属器官の保健	皮膚の水分と脂の状態、皮膚・付属器官とホルモン	
4	皮膚と付属器官の保健	皮膚の保護と手入れ	
5	皮膚と付属器官の保健	毛・爪の保護と手入れ、リラククスによるスキンケア	
6	皮膚と付属器官の疾患	皮膚の異常とその種類、皮膚疾患の原因	
7	皮膚と付属器官の疾患	皮膚疾患の治療法	
8	皮膚と付属器官の疾患	様々な原因による皮膚疾患、感染症の皮膚疾患の予防	
9	美容保健と美容師	人体各部の名称	
10	美容保健と美容師	頭部、顔部、頸部の体表解剖学、	
11	細胞と体液	細胞から系統まで	
12	細胞と体液	体液と血液	
13	骨格器系	骨の種類と構造 骨の連結	
14	骨格器系	骨格器系とそのはたらき 骨の保健	
15	筋系	筋の種類とその特徴	
16	筋系	主な骨格筋とそのはたらき	
17	神経系	中枢神経とそのはたらき	
18	神経系	末梢神経とそのはたらき	
19	感覚器系	視覚、聴覚、平衡感覚	
20	感覚器系	味覚、嗅覚、皮膚・深部・内臓感覚	
21	循環器系	血液循環の仕組み	
22	循環器系	血液の循環経路	
23	呼吸器系	気道、呼吸運動	
24	消化器系	消化管、消化腺	
25	泌尿器系	腎臓、尿管、膀胱、尿道	
26	内分泌系	ホルモン	
27	環境と生体	免疫	
28	皮膚の構造	皮膚の表面、断面、表皮と真皮、皮下組織	
29	皮膚付属器官の構造	毛、脂腺、汗腺、爪	
30	皮膚の循環器系と神経系	皮膚の血管、リンパ管、神経	
31	皮膚と皮膚付属器官の生理機能	皮膚の様々な作用	
32	皮膚と皮膚付属器官の保健	皮膚と付属器官の関係、手入れ	
33	皮膚と皮膚付属器官の疾患	皮膚疾患の原因、治療法	
34	まとめ	復習、過去問	
35	まとめ	復習、過去問	
36	まとめ	復習、過去問	
37	まとめ	復習、過去問	
38	まとめ	復習、過去問	
39	まとめ	復習、過去問	
40	まとめ	復習、過去問	

2020年度 シラバス

開講年度	課程	学科	学年
2020	職業実践専門課程	美容学科	1年前期・後期
科目名	担当教員		時間数
美容技術理論	並木 恵、丸山 美幸		80時間
授業科目の学修教育目標			
概要	技術にはその裏付けとなる理論が必ずある。理論を理解することで、技術が生きてくることを理解する。		
目標	美容師としての必要な基礎知識を学ぶ。衛生面の知識を学ぶ。		
成績評価方法	1)成績評価はA～Eの5段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)		
授業の方法と特徴	講義・演習 美容技術の理論を展開図や実際の美容教材をつかって分かりやすく説明する。また、担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。		
1	オリエンテーション	美容技術理論を学ぶにあたって	
2	美容技術理論を学ぶにあたって	美容理論と美容技術	
3	美容技術理論を学ぶにあたって	美容理論における作業姿勢	
4	美容技術理論を学ぶにあたって	美容技術に必要な人体各部の名称	
5	美容用具	美容技術における用具、コーム、ブラシ	
6	美容用具	美容技術における用具、シザーズ、レザ、ピン類、	
7	美容用具	美容技術における用具、ロッド、ローラー、ヘアアイロン	
8	美容用具	美容技術における用具、ヘアドライヤー、スチーマー、遠赤外線機	
9	シャンプー	シャンプーイング総論	
10	シャンプー	サイドシャンプー	
11	シャンプー	サイドシャンプー	
12	シャンプー	バックシャンプー	
13	シャンプー	バックシャンプー	
14	シャンプー	リンス・コンディショナー・トリートメント	
15	シャンプー	リンス・コンディショナー・トリートメント	
16	シャンプー	スカルプトリートメント	
17	シャンプー	スカルプトリートメント	
18	シャンプー、小テスト	ヘッドスパ	
19	ヘアデザイン	美容とデザイン、錯覚現象を美容に生かす	
20	ヘアデザイン	美容とデザイン、デザインの要素(点、線)	
21	ヘアデザイン	美容とデザイン、デザインの要素(面)	
22	ヘアデザイン	美容とデザイン、デザインの原理(比率、方向)	
23	ヘアデザイン、小テスト	美容とデザイン、デザインの原理(バランス)	
24	ヘアカッティング	ヘアカッティングとは	
25	ヘアカッティング	シザーズの扱い方、レザの扱い方	
26	ヘアカッティング	美容刃物について	
27	ヘアカッティング	ヘアカッティングの正しい姿勢	
28	ヘアカッティング	フロッキング	
29	ヘアカッティング	ヘアカッティングの基礎理論	
30	ヘアカッティング	ベーシックによるカット技法	
31	ヘアカッティング	ベーシックによるカット技法	
32	ヘアカッティング	シザーズによるカット技法	
33	ヘアカッティング	シザーズによるカット技法	
34	ヘアカッティング	シザーズによるカット技法	
35	ヘアカッティング	シザーズによるカット技法	
36	ヘアカッティング	レザによるカット技法	
37	ヘアカッティング、小テスト	レザによるカット技法	
38	パーマメントウエーピング	パーマメントウエーピングの歴史と現在	
39	パーマメントウエーピング	パーマメントウエーピング理論	
40	パーマメントウエーピング	パーマ剤の分類	
41	パーマメントウエーピング	パーマ剤に関する注意事項	
42	パーマメントウエーピング	パーマメントウエーピング技術	
43	パーマメントウエーピング	パーマメントウエーピング技術	
44	パーマメントウエーピング	パーマメントウエーピング技術	
45	パーマメントウエーピング	パーマメントウエーピング技術	
46	パーマメントウエーピング	パーマメントウエーピング技術	
47	パーマメントウエーピング	ワインディングのバリエーション	
48	パーマメントウエーピング	ワインディングのバリエーション	
49	パーマメントウエーピング、小テスト	縮毛矯正(高温整髪用アイロン使用)	
50	ヘアセッティング	ヘアセッティングとは	
51	ヘアセッティング	ヘアパーティング	
52	ヘアセッティング	ヘアシェーピング	
53	ヘアセッティング	ヘアウエーピング	
54	ヘアセッティング	ヘアウエーピング	
55	ヘアセッティング	ヘアカーリング	
56	ヘアセッティング	ヘアカーリング	
57	ヘアセッティング	ヘアカーリング	
58	ヘアセッティング	ヘアカーリング	

59	ヘアセッティング	ブロードドライ
60	ヘアセッティング	ブロードドライ
61	ヘアセッティング	アイロンセッティング
62	ヘアセッティング	アイロンセッティング
63	ヘアセッティング	バックコーミング
64	ヘアセッティング	バックコーミング
65	ヘアセッティング	アップスタイル
66	ヘアセッティング	アップスタイル
67	ヘアセッティング、小テスト	ウィッグとヘアピース
68	ヘアカラーリング	ヘアカラー概論
69	ヘアカラーリング	ヘアカラーリングの種類
70	ヘアカラーリング	ヘアカラーのタイプ別特徴
71	ヘアカラーリング	ヘアカラーのタイプ別特徴
72	ヘアカラーリング	染毛のメカニズム
73	ヘアカラーリング	色の基本
74	ヘアカラーリング	毛髪のレベルとアンダートーン
75	ヘアカラーリング	パッチテスト
76	ヘアカラーリング	染毛剤使用時の注意事項
77	ヘアカラーリング	ヘアカラーリングの道具
78	ヘアカラーリング	酸化染毛剤(アルカリ性タイプカラー)の技術手順
79	ヘアカラーリング	酸化染毛料の技術手順
80	ヘアカラーリング、小テスト	ヘアブリーチ

2020年度 シラバス

開講年度	課程	学科	学年
2020	職業実践専門課程	美容学科	2年前期・後期
科目名	担当教員		時間数
美容技術理論	岩澤 隆弘、佐藤 祐子		70時間
授業科目の学修教育目標			
概要	技術にはその裏付けとなる理論が必ずある。理論を理解することで、技術が生きてくることを理解する。		
目標	美容師としての必要な基礎知識を学ぶ。衛生面の知識を身につける。		
成績評価方法	1)成績評価はA～Eの5段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)		
授業の方法と特徴	講義・演習 美容技術の理論を展開図や実際の美容教材をつかって分かりやすく説明する。また、担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。		
1	エステティク	エステティク概論	
2	エステティク	皮膚の整理と構造	
3	エステティク	カウンセリング	
4	エステティク	美容におけるマッサージ理論	
5	エステティク	フェイシャルケア技術	
6	エステティク	フェイシャルマッサージ	
7	エステティク	デコルテマッサージ	
8	エステティク	フェイシャルパック	
9	エステティク	ボディケア技術	
10	エステティク	ボディマッサージ	
11	ネイル技術	ネイル技術概論	
12	ネイル技術	ネイル技術の種類	
13	ネイル技術	爪の構造と機能	
14	ネイル技術	爪のカット形状	
15	ネイル技術	ネイル技術と公衆衛生	
16	ネイル技術	カウンセリング	
17	ネイル技術	ネイルケア	
18	ネイル技術	ネイルケア	
19	ネイル技術	ネイルケア	
20	ネイル技術	アーティフェイシャルマッサージ	
21	ネイル技術	アーティフェイシャルマッサージ	
22	ネイル技術	手のマッサージ	
23	ネイル技術	足のマッサージ	
24	メイクアップ	メイクアップ概論	
25	メイクアップ	顔の形態学的な観察	
26	メイクアップ	メイクアップと色彩	
27	メイクアップ	皮膚の生理と構造	
28	メイクアップ	メイクアップの道具	
29	メイクアップ	スキンケア	
30	メイクアップ	ベースメイクアップ	
31	メイクアップ	アイメイクアップ	
32	メイクアップ	アイブロウメイクアップ	
33	メイクアップ	リップメイクアップ	
34	メイクアップ	ブラッシュオンメイクアップ	
35	メイクアップ	まつ毛エクステンション	
36	日本髪	日本髪の由来・日本髪の各部名称	
37	日本髪	日本髪の種類と特徴、日本髪と調和・日本髪の装飾品	
38	日本髪	日本髪の結髪道具、日本髪の結髪技術	
39	日本髪	日本髪の手入・かつら	
40	着付けの理論と技術	着付けの目的、礼装	
41	着付けの理論と技術	着物と季節、着物のいろいろ	
42	着付けの理論と技術	帯、小物	
43	着付けの理論と技術	着物各日の名称	
44	着付けの理論と技術	着物のたたみ方、着付けの一般的要素	
45	着付けの理論と技術	留袖着付け技術	
46	着付けの理論と技術	振袖着付け技術	
47	着付けの理論と技術	帯締め、帯揚げの結び方	
48	着付けの理論と技術	男子礼装羽織、袴着付け技術	
49	着付けの理論と技術	羽織の紐の結び方	
50	着付けの理論と技術	女子袴着付け技術	
51	着付けの理論と技術	婚礼の着付けの際の注意事項	
52	着付けの理論と技術	和装花嫁	
53	着付けの理論と技術	洋装花嫁(ウエディングドレスの知恵)	
54	美容技術理論まとめ	美容用具	
55	美容技術理論まとめ	シャンプーイング	
56	美容技術理論まとめ	ヘアデザイン	
57	美容技術理論まとめ	ヘアカットイング	
58	美容技術理論まとめ	パーマメントウエーピング	
59	美容技術理論まとめ	ヘアセッティング	
60	美容技術理論まとめ	ヘアカラーリング	
61	美容技術理論まとめ	エステティク	
62	美容技術理論まとめ	ネイル技術	
63	美容技術理論まとめ	メイクアップ	
64	美容技術理論まとめ	日本髪	
65	美容技術理論まとめ	着付け理論と技術	
66	美容技術理論まとめ	復習、過去問	
67	美容技術理論まとめ	復習、過去問	
68	美容技術理論まとめ	復習、過去問	
69	美容技術理論まとめ	復習、過去問	
70	美容技術理論まとめ	復習、過去問	

2020年度 シラバス

開講年度	課程	学科	学年
2020	職業実践専門課程	美容学科	1年前期
科目名	担当教員		時間数
運営管理	渡邊 陽介		15時間
授業科目の学修教育目標			
概要	経営管理の基本的事項を学習することによって美容業における科学的な経営管理手法の重要性を認識させ、美容所の経営に役立たせること。美容業において適切な接客態度がいかに重要であるかを自覚させるとともに消費者対応の基本を学ばせ、実践する能力を身に付けさせること。		
目標	経営者の考え方や経営者が果たす責任や役割を学ぶ。人を雇うことの責任や働くうえで求められることを学ぶ。顧客を満足させるサービスを実現するために必要なものについて考えを導き出す。		
成績評価方法	1)成績評価はA～Eの5段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)		
授業の方法と特徴	講義		
1	経営者の視点 経営とは	経営が必要とされる理由、継続が難しい理由＝経営が必要な理由	
2	経営者の視点 経営とは	経営とは何か	
3	経営者の視点 経営とは	経営資源と経営計画	
4	経営者の視点 経営とは	経営戦略、経営戦略が目指すもの、顧客に選ばれるよい店の実現	
5	美容業の経営について	業界の概要、競争の変化	
6	美容業の経営について	サービスとしての美容	
7	美容業の経営について	美容業の顧客について	
8	資金の管理	資金管理の重要性、収支と損益	
9	資金の管理	会計の考え方、コスト管理	
10	資金の管理	税金について	
11	人という資源	人という資源の特徴と課題、労務管理の目指すもの	
12	人という資源	人の能力を高める、人をやる気にさせるために	
13	人という資源	給与、待遇、福利厚生、労働者の権利	
14	健康・安全な職場環境の実現	健康管理の基礎、美容の仕事と健康	
15	健康・安全な職場環境の実現	美容業に特徴的な健康管理、びよりの作業環境に関する健康問題	

2020年度 シラバス

開講年度	課程	学科	学年
2020	職業実践専門課程	美容学科	2年後期
科目名	担当教員		時間数
運営管理	渡邊 陽介		15時間
授業科目の学修教育目標			
概要	経営管理の基本的事項を学習することによって美容業における科学的な経営管理手法の重要性を認識させ、美容所の経営に役立たせること。美容業において適切な接客態度がいかに重要であるかを自覚させるとともに消費者対応の基本を学ばせ、実践する能力を身に付けさせること。		
目標	経営者の考え方や経営者が果たす責任や役割を学ぶ。人を雇うことの責任や働くうえで求められることを学ぶ。顧客を満足させるサービスを実現するために必要なものについて考えを導き出す。		
成績評価方法	1)成績評価はA～Eの5段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)		
授業の方法と特徴	講義		
1	従業員としての視点から	社会人としての責任・美容業の従業員としての責任	
2	従業員としての視点から	国民年金、厚生年金保険	
3	従業員としての視点から	医療保険、労働保険	
4	従業員としての視点から	キャリアプランの重要性、仕事をするうえで考えるべきこと	
5	顧客のために	サービスデザインとその要点、顧客が求める価値の実現及び顧客満足の実現のためのシステム	
6	顧客のために	もっとも重要な価値:人、価値の多様性 顧客が求めるもの、サービスの範囲	
7	マーケティング	美容業のマーケティング、マーケティングミックス、サービスのシステム化	
8	サービスにおける人の役割	接客についての理解、よい接客のために	
9	サービスにおける人の役割	接客の実践	
10	サービスにおける人の役割	接客におけるトラブルと対応	
11	まとめ	復習	
12	まとめ	復習	
13	まとめ	復習	
14	まとめ	復習	
15	まとめ	復習	

2020年度 シラバス

開講年度	課程	学科	学年
2020	職業実践専門課程	美容学科	1年前期・後期
科目名	担当教員		時間数
スタイル画	谷口 祐子		30時間
授業科目の学修教育目標			
概要	鉛筆デッサン基礎、ファッションデザインの基礎、顔や髪の描き方等、スタイル画の知識と技能の習得する。		
目標	基本的な着装表現、ディテールの描き方素材表現などの表現方法を実習を通じて身につける。		
成績評価方法	1)成績評価はA～Eの5段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)		
授業の方法と特徴	講義、演習		
授業内容			
1	オリエンテーション	鉛筆の削り方	
2	顔のプロポーション	目幅(目頭～目尻)を基数的に分割する、眉頭～鼻先＝鼻先～あご先＝眉頭～額の生え際	
3	顔のプロポーション	目幅(目頭～目尻)を基数的に分割する、眉頭～鼻先＝鼻先～あご先＝眉頭～額の生え際	
4	顔の部分の練習	目の描き方	
5	顔の部分の練習	目の描き方	
6	顔の部分の練習	鼻の描き方	
7	顔の部分の練習	口の描き方	
8	顔の部分の練習	顔の部分の練習	
9	顔の描き方	レディス(正面、斜め向き、横向き)	
10	角度の変化による顔形	レディス(正面、斜め向き、横向き)	
11	角度の変化による顔形	レディス(正面、斜め向き、横向き)	
12	顔の描き方	メンズ(正面、斜め向き、横向き)	
13	角度の変化による顔形	メンズ(正面、斜め向き、横向き)	
14	角度の変化による顔形	メンズ(正面、斜め向き、横向き)	
15	まとめ	復習	
16	ヘアの描き方	毛先の表現、髪の長さによる違い、ウェーブヘア	
17	ヘアの描き方	ぼかして消しゴムで消す、線の強弱	
18	いろいろな描き方	パターンの描き方	
19	いろいろな描き方	省略的描き方	
20	いろいろな描き方	省略的描き方	
21	いろいろな描き方	写実的描き方	
22	顔の部分練習(応用)	目の種類、眉、鼻、口	
23	スタイル画のいろいろ	配置によるイメージの違い、ヘアスタイルによるイメージの違い、同じ顔でイメージを変える	
24	ファッションイラストレーション	基礎プロポーション、プロポーションの理解	
25	ファッションイラストレーション	ファッションイラストの部分練習	
26	ファッションイラストレーション	全身のファッションイラスト	
27	ファッションイラストレーション	ファッションングスの描き方	
28	作品作り		
29	作品作り		
30	作品作り		

2020年度 シラバス

開講年度	課程	学科	学年
2020	職業実践専門課程	美容学科	1年前期・後期
科目名	担当教員		時間数
食と健康学	中野 都子		30時間
授業科目の学修教育目標			
概要	食生活に果たす役割と期待について学び、美容にかかる健康と美容の関連性を深める		
目標	食生活における栄養素の働き、食事摂取や栄養状態の評価等に関する知識を習得させ、健康の維持・増進を図る能力と態度を育て、美容に係		
成績評価方法	1)成績評価はA～Eの5段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)		
授業の方法と特徴	講義、実習		
1	オリエンテーション	食の大切さ	
2	食生活について考える	食生活の現状、食習慣、栄養状態	
3	食生活について考える	食生活の課題、食料事情、食の安全及び環境とのかかわり	
4	食生活について考える	自分の食生活と食べ物の関係	
5	栄養学の基本 五大栄養素	炭水化物の種類と働き	
6	栄養学の基本 五大栄養素	炭水化物の種類と働き	
7	栄養学の基本 五大栄養素	脂質の種類と働き	
8	栄養学の基本 五大栄養素	脂質の種類と働き	
9	栄養学の基本 五大栄養素	タンパク質の種類と働き	
10	栄養学の基本 五大栄養素	タンパク質の種類と働き	
11	栄養学の基本 五大栄養素	ビタミンの種類と働き	
12	栄養学の基本 五大栄養素	ビタミンの種類と働き	
13	栄養学の基本 五大栄養素	ミネラルの種類と働き	
14	栄養学の基本 五大栄養素	ミネラルの種類と働き	
15	食品構成	食品の特徴、調理上の性質及び調理による成分の変化	
16	バランスよく食べる(基本)	健康に役立つ食品の選び方	
17	バランスよく食べる(応用)	栄養素を考慮した食生活のあり方	
18	バランスよく食べる(応用)	献立の立て方	
19	調理実習	調理実習	
20	調理実習	調理実習	
21	調理実習	調理実習	
22	調理実習	調理実習	
23	調理実習	調理実習	
24	調理実習	調理実習	
25	調理実習	調理実習	
26	調理実習	調理実習	
27	調理実習	調理実習	
28	調理実習	調理実習	
29	調理実習	調理実習	
30	調理実習	調理実習	

2020年度 シラバス

開講年度	課程	学科	学年
2020	職業実践専門課程	美容学科	1年前期・後期
科目名	担当教員		時間数
外国語	伊藤 アレシア		30時間
授業科目の学修教育目標			
概要	基礎的な会話能力を身に付けさせる。語学の学習を通じて外国の文化、生活習慣などに関する理解を深める。		
目標	基礎的な会話能力を身に付けさせる。		
成績評価方法	1)成績評価はA～Eの5段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)		
授業の方法と特徴	講義、演習		
1		Let me introduce myself	
2	自己紹介	自分について話そう	
3		Nice to meet you,too.	
4	あいさつ	時制	
5		Welcome to Sunny's Hair Salon	
6	丁寧表現	お客様を迎える	
7		Thank you for calling	
8	電話の英語	電話での接客	
9		Would you like a new hairstyle?	
10	髪質表現	コンサルテーション	
11		Is the temperature all right?	
12	発音・美容の単語	シャンプー・トリートメント	
13		Can I cut about two inches off?	
14	カット技術	ヘアカット	
15	まとめ	復習	
16		Have you had a perm before?	
17	現在完了形	パーマ	
18		How would you like it colored?	
19	色彩の表現	ヘアカラー	
20		I hope you like it!	
21	長さや温度	仕上げ	
22		Here's your new member's card.	
23	チップの基本	お会計	
24		I'm sorry for the inconvenience.	
25	混乱を避ける	クレーム対応	
26		It's an inspiring experience!	
27	街での英語	海外研修	
28		メイクアップ、ネイルケア、衛生、和装	
29	サロンの場面から	メイクアップ、ネイルケア、衛生、和装	
30	まとめ	復習	

2020年度 シラバス

開講年度	課程	学科	学年
2020	職業実践専門課程	美容学科	1年前期・後期
科目名	担当教員		時間数
化粧品化学	森田 彰子		30時間
授業科目の学修教育目標			
概要	美容の業務を安全かつ効果的に行うためには、正確な科学的知識と合理的思考に裏付けられた美容器具や化粧品の適正な取り扱いが不可欠であることを理解させる。特に、基本原理についての理解とその応用能力とが、美容師にとって極めて重要な意義を持つものであることを理解させ化粧品の合理的な取り扱い方法に習熟させる。あわせて、化粧品による危害を防止するための使用上の注意を学ばせる。		
目標	化粧品は、美容技術を行う上で欠くことのできないものである反面、その使用方法を誤れば重大な健康被害を起こすおそれがあるものであることから、その化学的な性質を理解させるとともに、これを正しく使用するためには正確な知識と適正な技術とを身につけることが重要であることを認識する。		
成績評価方法	1)成績評価はA～Eの5段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)		
授業の方法と特徴	講義		
1	化粧品の概要	化粧品とは	
2	化粧品の概要	化粧品の規制	
3	化粧品の概要	化粧品の安定性と取り扱い上の注意	
4	化粧品用原料	皮膚と水、水性原料	
5	小テスト、化粧品用原料	化学の基礎、分子、原子、化学結合	
6	化粧品用原料	有機化学の基礎、石油について	
7	化粧品用原料	油性原料、アルコール、炭化水素	
8	化学の基礎	脂肪酸、アルコール、低級、高級	
9	化粧品用原料	ロウ類、高級脂肪酸、高級アルコール	
10	小テスト、界面活性剤	界面活性剤とは	
11	界面活性剤	ミセルについて、CMC	
12	界面活性剤	色々な界面活性剤	
13	小テスト、化粧品用原料	界面活性剤の復習、O/W、W/O	
14	化粧品原料	色材	
15	化粧品原料	その他の配合成分	
16	小テスト、基礎化粧品	化粧水	
17	基礎化粧品	クリーム	
18	小テスト、メイクアップ用化粧品	基礎化粧品	
19	メイクアップ用化粧品	ファンデーション	
20	メイクアップ用化粧品	ベースメイクアップ化粧品、ポイントメイク化粧品	
21	メイクアップ用化粧品	チークなど	
22	ネイル製品	つめの性状とネイル製品	
23	小テスト、化学の基礎	高分子化合物	
24	化学の基礎	天然高分子化合物、半合成高分子化合物、合成高分子化合物	
25	化学の基礎	タンパク質、毛髪の構造	
26	シャンプー剤	汚れが落ちる原理	
27	ヘアリンス剤	様々なリンス剤、静電気防止効果	
28	スタイリング剤	粘性を利用した物	
29	スタイリング剤	高分子化合物の固化について	
30	スタイリング剤	エアゾール製品について	

2020年度 シラバス

開講年度	課程	学科	学年
2020	職業実践専門課程	美容学科	2年前期・後期
科目名	担当教員		時間数
化粧品化学	森田 彰子		30時間
授業科目の学修教育目標			
概要	美容の業務を安全かつ効果的に行うためには、正確な科学的知識と合理的思考に裏付けられた美容器具や化粧品の適正な取り扱いが不可欠であることを理解させる。特に、基本原理についての理解とその応用能力とが、美容師にとって極めて重要な意義を持つものであることを理解させ化粧品の合理的な取り扱い方法に習熟させる。あわせて、化粧品による危害を防止するための使用上の注意を学ばせる。		
目標	化粧品は、美容技術を行う上で欠くことのできないものである反面、その使用方法を誤れば重大な健康被害を起こすおそれがあるものであることから、その化学的な性質を理解させるとともに、これを正しく使用するためには正確な知識と適正な技術とを身につけることが重要であることを認識する。		
成績評価方法	1)成績評価はA～Eの5段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)		
授業の方法と特徴	講義		
1	小テスト、パーマ剤	パーマの原理	
2	パーマ剤	毛髪たんぱく質の架橋構造	
3	パーマ剤の種類	還元剤、酸化剤、アルカリ剤	
4	小テストヘアカラー製品	種類と染毛メカニズム	
5	一時染毛料、半永久染毛料	染毛の仕組み、種類と特徴	
6	永久染毛剤	染毛の仕組みと特徴	
7	永久染毛剤	染毛剤の中身、注意事項	
8	小テスト、育毛剤	脱毛の原因、育毛剤	
9	芳香製品	芳香製品の効用と種類	
10	サンケア製品	紫外線の種類と対策	
11	美白用化粧品	美白の仕組み	
12	小テスト	復習	
13	化粧品概論	復習、化粧品の社会的意義、品質と必要条件、化粧品の定義	
14	化粧品概論	復習、化粧品の安定性と取扱上の注意	
15	化粧品用原料	復習、色材	
16	化粧品用原料	復習、その他の配合成分	
17	化粧品用原料	復習、水性原料	
18	化粧品用原料	復習、油性原料	
19	化粧品用原料	復習、界面活性剤	
20	基礎化粧品	復習、化粧水、クリーム	
21	基礎化粧品	復習、乳液、その他	
22	メイクアップ用化粧品	復習、メイクアップ化粧品	
23	頭皮毛髪用化粧品	復習、過去問	
24	頭皮毛髪用化粧品	復習、過去問	
25	頭皮毛髪用化粧品	復習、過去問	
26	まとめ	復習、過去問	
27	まとめ	復習、過去問	
28	まとめ	復習、過去問	
29	まとめ	復習、過去問	
30	まとめ	復習、過去問	

2020年度 シラバス

開講年度	課程	学科	学年
2020	職業実践専門課程	美容学科	1年前期
科目名	担当教員		時間数
社会福祉	東 喜恵子		15時間
授業科目の学修教育目標			
概要	健康と生活について、特に高齢者に関する知識を習得させ、自立生活支援と福祉の充実に寄与する能力と態度を育てる。特に美容師の職能を活かして、社会福祉活動をする能力を育む。		
目標	社会福祉の意義と目的とを学ばせるとともに、福祉施設や地域におけるボランティア活動などを通じてその重要性を知る。また、美容師の職能を活かしてどのような社会福祉活動ができるかを学ぶ。		
成績評価方法	1)成績評価はA～Eの5段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)		
授業の方法と特徴	講義		
1	オリエンテーション		
2	美容と福祉	なぜ、今、福祉美容なの？	
3	暮らしを支える社会福祉①	私たちと生活問題	
4	暮らしを支える社会福祉②	社会経済環境の変化	
5	高齢者のこころとからだ①	高齢者の身体の変化	
6	高齢者のこころとからだ②	高齢者の心の変化	
7	高齢者のこころとからだ③	DVD鑑賞、認知症とその対応	
8	障害者のこころとからだ	障害をもった方への理解	
9	医療保障①	医療保障制度の概要	
10	医療保障②	医療保険のしくみ、公費負担の医療	
11	所得保障①	所得保障の概要、公的年金制度	
12	所得保障②	労働保険、公的扶助	
13	社会福祉①	社会福祉の概要	
14	社会福祉②	児童家庭福祉、障害者福祉、高齢者福祉	
15	まとめ		

2020年度 シラバス

開講年度	課程	学科	学年
2020	職業実践専門課程	美容学科	2年前期
科目名	担当教員		時間数
社会福祉	東 喜恵子		15時間
授業科目の学修教育目標			
概要	健康と生活について、特に高齢者に関する知識を習得させ、自立生活支援と福祉の充実に寄与する能力と態度を育てる。特に美容師の職能を活かして、社会福祉活動をする能力を育む。		
目標	社会福祉の意義と目的とを学ばせるとともに、福祉施設や地域におけるボランティア活動などを通じてその重要性を知る。また、美容師の職能を活かしてどのような社会福祉活動ができるかを学ぶ。		
成績評価方法	1)成績評価はA～Eの5段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)		
授業の方法と特徴	講義		
1	オリエンテーション	復習	
2	高齢者・障害者の介助①	美容における介助の考え方	
3	高齢者・障害者の介助②	高齢者に対する介助	
4	高齢者・障害者の介助③	障害のある方への介助	
5	高齢者・障害者に対する美容の実践①	事例を使って、美容室での実際の介助を考える	
6	高齢者・障害者に対する美容の実践②	施術における注意について	
7	高齢者・障害者に対する美容の実践③	高齢者・障害者にやさしい店舗づくり	
8	高齢者・障害者に対する美容の実践④	ケアの基本～着脱	
9	高齢者・障害者に対する美容の実践⑤	ケアの基本～歩行	
10	高齢者・障害者に対する美容の実践⑥	ケアの基本～車いすの扱い	
11	高齢者・障害者に対する美容の実践⑦	ケアの基本～視覚障害者への介助	
12	高齢者・障害者に対する美容の実践⑧	介護アロマセラピー、アロマセラピーの効果	
13	高齢者・障害者に対する美容の実践⑨	ハンドトリートメントの効果	
14	美容師の社会貢献活動	美容技術を用いた社会貢献活動	
15	まとめ		

2020年度 シラバス

開講年度	課程	学科	学年
2020	職業実践専門課程	美容学科	1年前期
科目名	担当教員		時間数
美容カウンセリング	山本 剛		15時間
授業科目の学修教育目標			
概要	美容サービスの一環として行うカウンセリングの意義、目的、内容、実施上の留意点などについて、実地に即した課題を提起し自らが学び、美容師の業務を全うするためには、正確な技術を提供するとともに、顧客の要望に応じた適切なカウンセリングの実施が重要であることを知る。		
目標	カウンセリング手法について、実践を通じてテクニックを学ぶ。またいろいろな事例を交えて知識を得る。		
成績評価方法	1) 成績評価はA～Eの5段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準：A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)		
授業の方法と特徴	講義、演習		
1	オリエンテーション		
2	カウンセリング概要	カウンセリングとは	
3	カウンセリング概要	カウンセリング手法	
4	カウンセリング概要	コンサルティング	
5	カウンセリング概要	コーチング	
6	カウンセリングに必要な基礎知識	個人情報の保護	
7	カウンセリングに必要な基礎知識	こころの仕組みと働き	
8	カウンセリングに必要な基礎知識	コミュニケーションとストレスの関係	
9	カウンセリングに必要な基礎知識	カウンセリングのプロセス	
10	カウンセリングに必要な基礎知識	3つの相談技法	
11	カウンセリングの訓練	ロールプレイによる傾聴訓練	
12	カウンセリングの訓練	エンカウンターグループ	
13	カウンセリングの訓練	スキルアップ訓練	
14	カウンセリングの訓練	職場でおこるトラブル対応の訓練	
15	まとめ		

2020年度 シラバス

開講年度	課程	学科	学年
2020	職業実践専門課程	美容学科	2年前期
科目名	担当教員		時間数
美容カウンセリング	山本 剛		15時間
授業科目の学修教育目標			
概要	美容サービスの一環として行うカウンセリングの意義、目的、内容、実施上の留意点などについて、実地に即した課題を提起し自らが学び、美容師の業務を全うするためには、正確な技術を提供するとともに、顧客の要望に応じた適切なカウンセリングの実施が重要であることを知る。		
目標	カウンセリング手法について、実践を通じてテクニックを学ぶ。またいろいろな事例を交えて知識を得る。		
成績評価方法	1)成績評価はA～Eの5段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準：A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)		
授業の方法と特徴	講義、演習		
授業内容			
1	オリエンテーション	復習	
2	職場の精神衛生管理	4つのメンタルヘルスケア	
3	職場の精神衛生管理	ストレス管理	
4	職場の精神衛生管理	ストレスサーとストレス反応	
5	職場の精神衛生管理	カウンセリングは重要な職場のシステム	
6	毛髪・皮膚コンサルティング	サロンでのコンサルティングの意義と必要性	
7	毛髪・皮膚コンサルティング	サロンの繁栄のためのコンサルティング	
8	毛髪・皮膚コンサルティング	毛髪診断	
9	毛髪・皮膚コンサルティング	パーマ施術前のコンサルティング	
10	毛髪・皮膚コンサルティング	カラー製品の選定、染毛剤の使用上の注意	
11	毛髪・皮膚コンサルティング	染毛剤のバッチテスト	
12	毛髪・皮膚コンサルティング	その他の施術前のコンサルティング	
13	毛髪・皮膚コンサルティング	傾聴とデッサン	
14	毛髪・皮膚コンサルティング	毛髪の痛みの原因、化粧品・医薬部外品の正しい知識	
15	まとめ		

2020年度 シラバス

開講年度	課程	学科	学年
2020	職業実践専門課程	美容学科	1年前期・後期
科目名	担当教員		時間数
色彩学	洪谷 典子		30時間
授業科目の学修教育目標			
概要	色そのものの知識を習得すると主に、色が人間の心を与える影響を実践を通じて認識する。		
目標	色彩の感情効果や視認性心理効果を知る。パーソナルカラー理論を学び、似合う色を探す。		
成績評価方法	1)成績評価はA～Eの5段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)		
授業の方法と特徴	講義、演習		
1	オリエンテーション	教材確認、授業の進め方、パーソナルカラー検定案内	
2	色の三属性	色の三属性について、配色カードを使って学ぶ、色相環作成	
3	イエローベース、ブルーベース	イエローベースとブルーベースの考え方	
4	パーソナルカラーの4つのグループ	三属性に基づいた4つのグループ	
5	トーン、4つのグループをトーンでとらえる	4グループをトーンでとらえる。トーン別色相環作成	
6	色をかたまりでイメージする	4グループのカラーパレットを作成する	
7	色素について、色素チェック	自分自身の肌、髪、眼の色素をチェックする	
8	4つのグループの色素傾向①	4グループの色素傾向を学ぶ	
9	トレーピング実習①	トレーピングをして、自分自身のパーソナルカラーを知る	
10	トレーピング実習②	トレーピングをして、自分自身のパーソナルカラーを知る	
11	トレーピング実習③	トレーピングをして、自分自身のパーソナルカラーを知る	
12	トレーピング実習④	トレーピングをして、自分自身のパーソナルカラーを知る	
13	トレーピング実習⑤	トレーピングをして、自分自身のパーソナルカラーを知る	
14	まとめ	まとめ	
15	まとめ	まとめ	
16	イメージワード、コラージュについて	4グループのイメージワードを考える、コラージュ作成の手順について	
17	コラージュ作成①	雑誌などを使用し、4グループのコラージュを作成する	
18	コラージュ作成②	雑誌などを使用し、4グループのコラージュを作成する	
19	コラージュの発表、提出	コラージュを完成させ、発表、提出する	
20	P.Iを生かした自分ブランディング	自分ブランディングの考え方	
21	自分自身のP.Iについて	自分自身を生かすために具体的にどうするか	
22	4つのグループの色素について②	4グループの色素について、検定を見据えて深く学ぶ	
23	色の対比	検定に向けて色彩学に取り組む	
24	色の反射・吸収	検定に向けて色彩学に取り組む	
25	光と色	検定に向けて色彩学に取り組む	
26	検定対策①	検定に向けて色彩学に取り組む	
27	検定対策②	検定に向けて色彩学に取り組む	
28	検定対策③	検定に向けて色彩学に取り組む	
29	まとめ		
30	まとめ		

2020年度 シラバス

開講年度	課程	学科	学年
2020	職業実践専門課程	美容学科	2年前期・後期
科目名	担当教員		時間数
色彩学	渋谷 典子		30時間
授業科目の学修教育目標			
概要	色そのものの知識を習得すると主に、色が人間の心を与える影響を実践を通じて認識する。		
目標	色彩の感情効果や視認性心理効果を知る。パーソナルカラー理論を学び、似合う色を探す。		
成績評価方法	1)成績評価はA～Eの5段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)		
授業の方法と特徴	講義、演習		
授業内容			
1	オリエンテーション	教材確認、パーソナルカラー検定案内	
2	PCCS	復習	
3	色名①	復習、色名について学ぶ	
4	色名②	復習、色名について学ぶ	
5	混色①	混色の原理	
6	混色②	混色の原理とその応用	
7	心理①	色彩心理について	
8	心理②	色彩心理について	
9	心理③	色彩心理について	
10	配色①	色相配色	
11	配色②	色相配色	
12	配色③	トーン配色	
13	検定対策①	検定に向けて色彩学に取り組む	
14	検定対策②	検定に向けて色彩学に取り組む	
15	検定対策③	検定に向けて色彩学に取り組む	
16	まとめ		
17	まとめ		
18	クライアントへのアドバイス①	クライアント対応のポイントを学ぶ	
19	クライアントへのアドバイス②	クライアント対応のポイントを学ぶ	
20	色素のアドバイス①	色素のアドバイス、ケーススタディ	
21	色素のアドバイス②	色素のアドバイス、ケーススタディ	
22	三属性に基づくドレーピング①	似合う色を三属性でとらえる、アドバイスをする視点にたつ	
23	三属性に基づくドレーピング②	似合う色を三属性でとらえる、アドバイスをする視点にたつ	
24	様々なアイテムへの活用①	ヘアカラー、メイクカラーを中心にどう活用するかを考える	
25	様々なアイテムへの活用②	ヘアカラー、メイクカラーを中心にどう活用するかを考える	
26	アドバイステクニック①	似合う色と好きな色が一致しない場合などのアドバイス	
27	アドバイステクニック②	ケーススタディ	
28	アドバイステクニック③	ケーススタディ	
29	まとめ		
30	まとめ		

2020年度 シラバス

開講年度	課程	学科	学年
2020	職業実践専門課程	美容学科	1年前期・後期
科目名	担当教員		時間数
美容実習(基本)	山本 剛、岩澤 隆弘、渡邊 陽介、鶴田 正和、丸山 美幸、大竹 政明、佐々木 みゆき		9時間(400時間中)
授業科目の学修教育目標			
概要	美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を適宜組合わせて完成させる技術を習得させる。美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせる。個々の客の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせる。		
目標	美容師としての必要な基礎技術を学ぶ。衛生面の技術と知識を身につける。		
成績評価方法	1)成績評価はA～Eの5段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)		
授業の方法と特徴	講義・実習 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。また、担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。		
授業内容			
1	美容技術作業姿勢	実習 作業姿勢	
2	頭部の名称	実習 ウィックで名称お確認	
		実習 各部のブロッキング	
3	美容器具説明	展示 器具の説明及び手入れ方法	
		展示 使用例の実際	

2020年度 シラバス

開講年度	課程	学科	学年
2020	職業実践専門課程	美容学科	1年前期・後期
科目名	担当教員		時間数
美容実習(シャンプー)	山本 剛、岩澤 隆弘、渡邊 陽介、鶴田 正和、丸山 美幸、大竹 政明、佐々木 みゆき		54時間(400時間中)
授業科目の学修教育目標			
概要	美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を適宜組合わせて完成させる技術を習得させる。美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせる。個々の客の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせる。		
目標	美容師としての必要な基礎技術を学ぶ。衛生面の技術と知識を身につける。		
成績評価方法	1)成績評価はA～Eの5段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)		
授業の方法と特徴	講義・実習 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。また、担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。		
授業内容			
1	シャンプーイング	展示:クロス掛けの作業手順、留意点、肩マッサージ 実習:相モデル	
2	ブラッシング、すすぎ	展示:ブラッシング・すすぎの作業姿勢、準備、作業手順 実習:相モデル	
3	バックシャンプー	展示:ファーストシャンプー意味、手順 実習:相モデル	
4	バックシャンプー	展示:セカンドシャンプー意味、手順 実習:相モデル、ファーストシャンプー・セカンドシャンプー反復練習	
5	バックシャンプー	展示:タオルドライ、タオルターバン手順 実習:相モデル、ファーストシャンプー・セカンドシャンプー反復練習	
6	バックシャンプー	展示:クロス掛け～タオルターバンまでの手順 実習:相モデル、ファーストシャンプー・セカンドシャンプー反復練習	
7	バックシャンプー	実習:相モデル、ファーストシャンプー・セカンドシャンプー反復練習	
8	バックシャンプー	実習:相モデル、ファーストシャンプー・セカンドシャンプー反復練習	
9	バックシャンプー	実習:相モデル、ファーストシャンプー・セカンドシャンプー反復練習	
10	バックシャンプー	テスト	
11	サイドシャンプー	展示:すすぎの作業姿勢、準備、作業手順 実習:相モデル	
12	サイドシャンプー	展示:ファーストシャンプー手順 実習:相モデル	
13	サイドシャンプー	展示:セカンドシャンプー手順 実習:相モデル	
14	サイドシャンプー	展示:クロス掛け～タオルターバンまでの手順 実習:相モデル、ファーストシャンプー・セカンドシャンプー反復練習	
15	サイドシャンプー	実習:相モデル、ファーストシャンプー・セカンドシャンプー反復練習	
16	サイドシャンプー	実習:相モデル、ファーストシャンプー・セカンドシャンプー反復練習	
17	サイドシャンプー	実習:相モデル、ファーストシャンプー・セカンドシャンプー反復練習	
18	サイドシャンプー	テスト	

2020年度 シラバス

開講年度	課程	学科	学年
2020	職業実践専門課程	美容学科	2年前期・後期
科目名	担当教員		時間数
美容実習(シャンプー)	山本 剛、岩澤 隆弘、渡邊 陽介、鶴田 正和、丸山 美幸、大竹 政明、佐々木 みゆき		24時間(500時間中)
授業科目の学修教育目標			
概要	美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を適宜組合わせて完成させる技術を習得させる。美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせる。個々の客の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせる。		
目標	美容師としての必要な基礎技術を学ぶ。衛生面の技術と知識を身につける。		
成績評価方法	1)成績評価はA～Eの5段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)		
授業の方法と特徴	講義・実習 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。また、担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。		
授業内容			
1	バックシャンプー	展示・作業手順の確認 実習:相モデル	
2	バックシャンプー	実習:相モデル	
3	バックシャンプー	実習:相モデル 接客テスト	
4	サイドシャンプー	手荒れや手袋シャンプーについて、カラー乳化について 実習:相モデル	
5	サイドシャンプー	時間と満足度と価格について意識する 実習:相モデル	
6	サイドシャンプー	ヘッドスパ 実習:相モデル	
7	実践	内定先を考え、サイドかバックかに分かれ、接客を意識する 実習:相モデル	
8	実践	テスト	

2020年度 シラバス

開講年度	課程	学科	学年
2020	職業実践専門課程	美容学科	1年前期・後期
科目名	担当教員		時間数
美容実習(カット)	山本 剛、岩澤 隆弘、渡邊 陽介、鶴田 正和、丸山 美幸、大竹 政明、佐々木 みゆき		69時間(400時間中)
授業科目の学修教育目標			
概要	美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を適宜組合わせて完成させる技術を習得させる。美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせる。個々の客の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせる。		
目標	美容師としての必要な基礎技術を学ぶ。衛生面の技術と知識を身につける。		
成績評価方法	1)成績評価はA～Eの5段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)		
授業の方法と特徴	講義・実習 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。また、担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。		
授業内容			
1	カット概論	講義:カット技法における仕上がり、組み合わせ 講義、展示:シザーズの持ち方、パネルへの入れ方	
2	カット概論	展示:ウエット、ブロッキング手順、カット(各セクションの取り方) 実習:ウエット、ブロッキング、カット反復練習	
3	カット概論	実習:ウエット、ブロッキング、カット反復練習	
4	ワンレングスカット	展示:バック・サイドセクションのカット手順 実習:バック・サイドセクションのカット	
5	ワンレングスカット	展示:フロントセクションのカット 実習:フロントセクションのカット	
6	ワンレングスカット	展示:ワンレングスポフのカット完成手順 実習:ワンレングスポフのカット完成、フロースタイリング	
7	カット概論	実習:ウエット、ブロッキング、カット反復練習	
8	グラデーションカット	講義:グラデーションカットにおける仕上がり、組み合わせ 展示:グラデーションカット手順 実習:ブロッキング手順確認	
9	グラデーションカット	展示:ガイドラインのカット手順 実習:ウエット、ブロッキング、ガイドラインのカット	
10	グラデーションカット	展示:サイド・ネーフ・バックカット手順 実習:グラデーションスタイルのカット	
11	グラデーションカット	展示:トップ、フロントのカット手順、完成手順 実習:グラデーションスタイルのカット完成、フロースタイリング	
12	カット概論	実習:ウエット、ブロッキング、カット反復練習	
13	レイヤーカット	講義:レイヤーカットにおける仕上がり、組み合わせ 展示:レイヤーカット手順 実習:ブロッキング手順確認	
14	レイヤーカット	展示:ガイドラインのカット手順 実習:ウエット、ブロッキング、ガイドラインのカット	
15	レイヤーカット	展示:サイド・ネーフ・バックカット手順 実習:レイヤーのカット	
16	レイヤーカット	展示:トップ、フロントのカット手順、完成手順 実習:レイヤーカットの完成、フロースタイリング	
17	セニングカット	展示:毛量調整の行い方、手順 実習:毛量調整	
18	カットティング	実習:各種技法によるカットスタイル① 実習:各種技法によるカットスタイル②	
19	レザーカット	講義、展示:レザーカットの効果、手順 実習:レザーカット	
20	レザーカット	展示:毛量調整の行い方、手順 実習:毛量調整	
21	刈り上げ	展示:カット手順 実習:刈り上げカット	
22	刈り上げ	展示:カット手順 実習:刈り上げカット	

2020年度 シラバス

開講年度	課程	学科	学年
2020	職業実践専門課程	美容学科	2年前期・後期
科目名	担当教員		時間数
美容実習(カット)	山本 剛、岩澤 隆弘、渡邊 陽介、鶴田 正和、丸山 美幸、大竹 政明、佐々木 みゆき		24時間(500時間中)
授業科目の学修教育目標			
概要	美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を適宜組合わせて完成させる技術を習得させる。美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせる。個々の客の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせる。		
目標	美容師としての必要な基礎技術を学ぶ。衛生面の技術と知識を身につける。		
成績評価方法	1)成績評価はA～Eの5段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)		
授業の方法と特徴	講義・実習 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。また、担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。		
授業内容			
1	ショートスタイル	講義:縦スライスをしっかりとる、縦シェーブがしっかりとシェーブされているかを意識する	
		講義、展示:縦スライス、縦シェーブ カット実習	
2	ショートスタイル	展示:シザーズの扱い方、オンベースに切る	
		カット実習	
3	グラデーションカット	実習:縦スライス、オンベースに切る(反復練習)	
4	グラデーションカット	実習:縦スライス、オンベースに切る(反復練習)	
5	レイヤーカット	実習:縦スライス、オンベースに切る(反復練習)	
6	レイヤーカット	実習:縦スライス、オンベースに切る(反復練習)	
		実習:ワンリングスボブのカット完成、フロースタイリング	

2020年度 シラバス

開講年度	課程	学科	学年
2020	職業実践専門課程	美容学科	1年前期・後期
科目名	担当教員		時間数
美容実習(ワインディング)	山本 剛、岩澤 隆弘、渡邊 陽介、鶴田 正和、丸山 美幸、大竹 政明、佐々木 みゆき		95時間(400時間中)
授業科目の学修教育目標			
概要	美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を適宜組合わせて完成させる技術を習得させる。美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせる。個々の客の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせる。		
目標	美容師としての必要な基礎技術を学ぶ。衛生面の技術と知識を身につける。		
成績評価方法	1)成績評価はA～Eの5段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)		
授業の方法と特徴	講義・実習 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。また、担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。		
授業内容			
1	パーマメントウェーブ	講義、実習:作業姿勢、各種道具の使用法	
2	ブロッキング	展示:ウイックの事前準備、ブロッキング手順 実習:ウイックの事前準備、ブロッキング	
3	ブロッキング	実習:ウイックの事前準備、ブロッキング	
4	ワインディング	展示:作業姿勢、スライス、ベース、シェーピングの仕方 ステムの角度、ボリュームの関係、毛先の処理、輪ゴム 実習:作業姿勢、反復練習	
5	ワインディング	展示:上巻きの巻き方手順 実習:上巻き、反復練習	
6	ワインディング	実習:上巻き、反復練習	
7	ワインディング	展示:下巻きの巻き方手順 実習:下巻き、反復練習	
8	ワインディング	展示:オールパーバスの巻き方手順 実習:オールパーバス(全頭)	
9	ワインディング	展示:オールパーバスの巻き方手順 実習:オールパーバス(全頭)	
10	ワインディング	展示:オールパーバスの巻き方手順 実習:オールパーバス(全頭)	
11	ワインディング	展示:オールパーバスの巻き方手順 実習:オールパーバス(全頭)	
12	ワインディングバリエーション	展示:国家試験スタイルのブロッキングと巻き方手順 実習:国家試験スタイル(ブロッキング)	
13	ワインディングバリエーション	展示:国家試験スタイルのブロッキングと巻き方手順 実習:国家試験スタイル(ブロッキング、センター)	
14	ワインディングバリエーション	展示:国家試験スタイルのブロッキングと巻き方手順 実習:国家試験スタイル(ブロッキング～センターフロント)	
15	ワインディングバリエーション	展示:国家試験スタイルのブロッキングと巻き方手順 実習:国家試験スタイル(フロント)	
16	ワインディングバリエーション	展示:国家試験スタイルのブロッキングと巻き方手順 実習:国家試験スタイル(バックサイド、サイド)	
17	ワインディングバリエーション	展示:国家試験スタイルのブロッキングと巻き方手順 実習:国家試験スタイル(バックサイド、サイド)	
18	ワインディングバリエーション	展示:国家試験スタイルのブロッキングと巻き方手順 実習:国家試験スタイル(全頭)	
19	ワインディングバリエーション	展示:国家試験スタイルのブロッキングと巻き方手順 実習:国家試験スタイル(全頭)	
20	ワインディングバリエーション	展示:ワインディングバリエーション手順 実習:ワインディングバリエーション(全頭)	
21	ワインディングバリエーション	展示:国家試験スタイルのブロッキングと巻き方手順 実習:国家試験スタイル(全頭)	
22	ワインディングバリエーション	展示:国家試験スタイルのブロッキングと巻き方手順 実習:国家試験スタイル(全頭)	
23	ワインディングバリエーション	展示:国家試験スタイルのブロッキングと巻き方手順 実習:国家試験スタイル(全頭)	
24	ワインディングバリエーション	展示:国家試験スタイルのブロッキングと巻き方手順 実習:国家試験スタイル(全頭)	

25	ワインディングバリエーション	展示: 国家試験スタイルのブロックングと巻き方手順
		実習: 国家試験スタイル(全頭)
26	ワインディングバリエーション	展示: 国家試験スタイルのブロックングと巻き方手順
		実習: 国家試験スタイル(全頭)
27	ワインディングバリエーション	展示: 国家試験スタイルのブロックングと巻き方手順
		実習: 国家試験スタイル(全頭)
28	ワインディングバリエーション	展示: 国家試験スタイルのブロックングと巻き方手順
		実習: 国家試験スタイル(全頭)
29	ワインディングバリエーション	展示: 国家試験スタイルのブロックングと巻き方手順
		実習: 国家試験スタイル(全頭)
30	ワインディングバリエーション	展示: 国家試験スタイルのブロックングと巻き方手順
		実習: 国家試験スタイル(全頭)

2020年度 シラバス

開講年度	課程	学科	学年
2020	職業実践専門課程	美容学科	2年前期・後期
科目名	担当教員		時間数
美容実習(ワインディング)	山本 剛、岩澤 隆弘、渡邊 陽介、鶴田 正和、丸山 美幸、大竹 政明、佐々木 みゆき		94時間(500時間中)
授業科目の学修教育目標			
概要	美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を適宜組合わせて完成させる技術を習得させる。美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせる。個々の客の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせる。		
目標	美容師としての必要な基礎技術を学ぶ。衛生面の技術と知識を身につける。		
成績評価方法	1)成績評価はA～Eの5段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)		
授業の方法と特徴	講義・実習 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。また、担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。		
授業内容			
1	ワインディングバリエーション	展示:国家試験スタイルのブロッキングと巻き方手順 実習:国家試験スタイル(全頭)	
2	ワインディングバリエーション	展示:国家試験スタイルのブロッキングと巻き方手順 実習:国家試験スタイル(全頭)	
3	ワインディングバリエーション	展示:国家試験スタイルのブロッキングと巻き方手順 実習:国家試験スタイル(全頭)	
4	ワインディングバリエーション	展示:国家試験スタイルのブロッキングと巻き方手順 実習:国家試験スタイル(全頭)	
5	ワインディングバリエーション	展示:国家試験スタイルのブロッキングと巻き方手順 実習:国家試験スタイル(全頭)	
6	ワインディングバリエーション	展示:国家試験スタイルのブロッキングと巻き方手順 実習:国家試験スタイル(全頭)	
7	ワインディングバリエーション	展示:国家試験スタイルのブロッキングと巻き方手順 実習:国家試験スタイル(全頭)	
8	ワインディングバリエーション	展示:国家試験スタイルのブロッキングと巻き方手順 実習:国家試験スタイル(全頭)	
9	ワインディングバリエーション	展示:国家試験スタイルのブロッキングと巻き方手順 実習:国家試験スタイル(全頭)	
10	ワインディングバリエーション	展示:国家試験スタイルのブロッキングと巻き方手順 実習:国家試験スタイル(全頭)	
11	ワインディングバリエーション	展示:国家試験スタイルのブロッキングと巻き方手順 実習:国家試験スタイル(全頭)	
12	ワインディングバリエーション	展示:国家試験スタイルのブロッキングと巻き方手順 実習:国家試験スタイル(全頭)	
13	ワインディングバリエーション	展示:国家試験スタイルのブロッキングと巻き方手順 実習:国家試験スタイル(全頭)	
14	ワインディングバリエーション	展示:国家試験スタイルのブロッキングと巻き方手順 実習:国家試験スタイル(全頭)	
15	ワインディングバリエーション	展示:国家試験スタイルのブロッキングと巻き方手順 実習:国家試験スタイル(全頭)	
16	ワインディングバリエーション	展示:国家試験スタイルのブロッキングと巻き方手順 実習:国家試験スタイル(全頭)	
17	ワインディングバリエーション	展示:国家試験スタイルのブロッキングと巻き方手順 実習:国家試験スタイル(全頭)	
18	ワインディングバリエーション	展示:国家試験スタイルのブロッキングと巻き方手順 実習:国家試験スタイル(全頭)	
19	ワインディングバリエーション	展示:国家試験スタイルのブロッキングと巻き方手順 実習:国家試験スタイル(全頭)	
20	ワインディングバリエーション	展示:国家試験スタイルのブロッキングと巻き方手順 実習:国家試験スタイル(全頭)	
21	ワインディングバリエーション	展示:国家試験スタイルのブロッキングと巻き方手順 実習:国家試験スタイル(全頭)	
22	ワインディングバリエーション	展示:国家試験スタイルのブロッキングと巻き方手順 実習:国家試験スタイル(全頭)	
23	ワインディングバリエーション	展示:国家試験スタイルのブロッキングと巻き方手順 実習:国家試験スタイル(全頭)	

24	ワインディングバリエーション	展示: 国家試験スタイルのフロッキングと巻き方手順 実習: 国家試験スタイル(全頭)
25	ワインディングバリエーション	展示: 国家試験スタイルのフロッキングと巻き方手順 実習: 国家試験スタイル(全頭)
26	ワインディングバリエーション	展示: 国家試験スタイルのフロッキングと巻き方手順 実習: 国家試験スタイル(全頭)
27	ワインディングバリエーション	展示: 国家試験スタイルのフロッキングと巻き方手順 実習: 国家試験スタイル(全頭)
28	ワインディングバリエーション	展示: 国家試験スタイルのフロッキングと巻き方手順 実習: 国家試験スタイル(全頭)
29	ワインディングバリエーション	展示: 国家試験スタイルのフロッキングと巻き方手順 実習: 国家試験スタイル(全頭)
30	ワインディングバリエーション	展示: 国家試験スタイルのフロッキングと巻き方手順 実習: 国家試験スタイル(全頭)

2020年度 シラバス

開講年度	課程	学科	学年
2020	職業実践専門課程	美容学科	1年前期・後期
科目名	担当教員		時間数
美容実習	山本 剛、岩澤 隆弘、渡邊 陽介、鶴田 正和、丸山 美幸、大竹 政明、佐々木 みゆき		95時間(400時間中)
授業科目の学修教育目標			
概要	美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を適宜組合わせて完成させる技術を習得させる。美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせる。個々の客の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせる。		
目標	美容師としての必要な基礎技術を学ぶ。衛生面の技術と知識を身につける。		
成績評価方法	1)成績評価はA～Eの5段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)		
授業の方法と特徴	講義・実習 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。また、担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。		
授業内容			
1	ヘアカーリング	講義:道具の名称と配置、ヘアカーリング理論、技術の種類 展示:各種カール技術①、ピンニング手順、ノーバートウエーブ技術	
2	ヘアカーリング	展示:メイボールカール(左巻き)、ピンニング手順 実習:メイボールカール(左巻き)	
3	ヘアカーリング	展示:メイボールカール(右巻き、ピンニング)手順 実習:メイボールカール(右巻き)	
4	ヘアカーリング	展示:スカルプチュアカール(左巻き)、ピンニング手順 実習:スカルプチュアカール(左巻き)	
5	ヘアカーリング	展示:スカルプチュアカール(右巻き)、ピンニング手順 実習:スカルプチュアカール(右巻き)	
6	ヘアカーリング	展示:リフトカールカール(左巻き)、ピンニング手順 実習:リフトカール(左巻き)	
7	ヘアカーリング	展示:リフトカール(右巻き、ピンニング)手順 実習:リフトカール(右巻き)	
8	ヘアカーリング	展示:各種カール技術①、ピンニング手順 実習:各種カール技術①	
9	ヘアカーリング	展示:クロッキノールカール(左巻き、右巻き)、ピンニング手順 実習:クロッキノールカール(左巻き、右巻き)	
10	ヘアカーリング	展示:クロッキノールカール(右巻き、ピンニング)手順 実習:クロッキノールカール(右巻き)	
11	ヘアカーリング	展示:各種カール技術②、ピンニング手順 実習:各種カール技術②	
12	ヘアカーリング	展示:各種カール技術③、ピンニング手順 実習:各種カール技術③	
13	ヘアウエーピング	展示:ノーバートウエーブ全頭技術手順 実習:ウエーブ技術	
14	ヘアウエーピング	実習:ウエーブ技術	
15	オールウエーブセッティング	展示:国家試験課題(1段目～3段目)技術手順 実習:国家試験課題(1段目～3段目技術)、カールとウエーブ復習	
16	オールウエーブセッティング	実習:国家試験課題(1段目～3段目技術)、カールとウエーブ復習 反復練習	
17	オールウエーブセッティング	展示:国家試験課題(4段目～5段目)技術手順 実習:国家試験課題(4段目～5段目技術)、カールとウエーブ復習	
18	オールウエーブセッティング	実習:国家試験課題(4段目～5段目技術)、カールとウエーブ復習	
19	オールウエーブセッティング	展示:国家試験課題(6段目～7段目)技術手順 実習:国家試験課題(6段目～7段目技術)、カールとウエーブ復習	
20	オールウエーブセッティング	展示:国家試験課題全頭技術手順 実習:国家試験課題全頭技術反復練習	
21	オールウエーブセッティング	展示:国家試験課題全頭技術手順 実習:国家試験課題全頭技術反復練習	
22	オールウエーブセッティング	展示:国家試験課題全頭技術手順 実習:国家試験課題全頭技術反復練習	
23	オールウエーブセッティング	展示:国家試験課題全頭技術手順 実習:国家試験課題全頭技術反復練習	

24	オールウェーブセッティング	展示: 国家試験課題全頭技術手順
		実習: 国家試験課題全頭技術反復練習
25	オールウェーブセッティング	展示: 国家試験課題全頭技術手順
		実習: 国家試験課題全頭技術反復練習
26	オールウェーブセッティング	展示: 国家試験課題全頭技術手順
		実習: 国家試験課題全頭技術反復練習
27	オールウェーブセッティング	展示: 国家試験課題全頭技術手順
		実習: 国家試験課題全頭技術反復練習
28	オールウェーブセッティング	展示: 国家試験課題全頭技術手順
		実習: 国家試験課題全頭技術反復練習
29	オールウェーブセッティング	展示: 国家試験課題全頭技術手順
		実習: 国家試験課題全頭技術反復練習
30	オールウェーブセッティング	展示: 国家試験課題全頭技術手順
		実習: 国家試験課題全頭技術反復練習

2020年度 シラバス

開講年度	課程	学科	学年
2020	職業実践専門課程	美容学科	2年前期・後期
科目名	担当教員		時間数
美容実習	山本 剛、岩澤 隆弘、渡邊 陽介、鶴田 正和、丸山 美幸、大竹 政明、佐々木 みゆき		94時間(500時間中)
授業科目の学修教育目標			
概要	美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を適宜組合わせて完成させる技術を習得させる。美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせる。個々の客の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせる。		
目標	美容師としての必要な基礎技術を学ぶ。衛生面の技術と知識を身につける。		
成績評価方法	1)成績評価はA～Eの5段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)		
授業の方法と特徴	講義・実習 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。また、担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。		
授業内容			
1	オールウェーブセッティング	展示:国家試験課題全頭技術手順 実習:国家試験課題全頭技術反復練習	
2	オールウェーブセッティング	展示:国家試験課題全頭技術手順 実習:国家試験課題全頭技術反復練習	
3	オールウェーブセッティング	展示:国家試験課題全頭技術手順 実習:国家試験課題全頭技術反復練習	
4	オールウェーブセッティング	展示:国家試験課題全頭技術手順 実習:国家試験課題全頭技術反復練習	
5	オールウェーブセッティング	展示:国家試験課題全頭技術手順 実習:国家試験課題全頭技術反復練習	
6	オールウェーブセッティング	展示:国家試験課題全頭技術手順 実習:国家試験課題全頭技術反復練習	
7	オールウェーブセッティング	展示:国家試験課題全頭技術手順 実習:国家試験課題全頭技術反復練習	
8	オールウェーブセッティング	展示:国家試験課題全頭技術手順 実習:国家試験課題全頭技術反復練習	
9	オールウェーブセッティング	展示:国家試験課題全頭技術手順 実習:国家試験課題全頭技術反復練習	
10	オールウェーブセッティング	展示:国家試験課題全頭技術手順 実習:国家試験課題全頭技術反復練習	
11	オールウェーブセッティング	展示:国家試験課題全頭技術手順 実習:国家試験課題全頭技術反復練習	
12	オールウェーブセッティング	展示:国家試験課題全頭技術手順 実習:国家試験課題全頭技術反復練習	
13	オールウェーブセッティング	展示:国家試験課題全頭技術手順 実習:国家試験課題全頭技術反復練習	
14	オールウェーブセッティング	展示:国家試験課題全頭技術手順 実習:国家試験課題全頭技術反復練習	
15	オールウェーブセッティング	展示:国家試験課題全頭技術手順 実習:国家試験課題全頭技術反復練習	
16	オールウェーブセッティング	展示:国家試験課題全頭技術手順 実習:国家試験課題全頭技術反復練習	
17	オールウェーブセッティング	展示:国家試験課題全頭技術手順 実習:国家試験課題全頭技術反復練習	
18	オールウェーブセッティング	展示:国家試験課題全頭技術手順 実習:国家試験課題全頭技術反復練習	
19	オールウェーブセッティング	展示:国家試験課題全頭技術手順 実習:国家試験課題全頭技術反復練習	
20	オールウェーブセッティング	展示:国家試験課題全頭技術手順 実習:国家試験課題全頭技術反復練習	
21	オールウェーブセッティング	展示:国家試験課題全頭技術手順 実習:国家試験課題全頭技術反復練習	
22	オールウェーブセッティング	展示:国家試験課題全頭技術手順 実習:国家試験課題全頭技術反復練習	
23	オールウェーブセッティング	展示:国家試験課題全頭技術手順 実習:国家試験課題全頭技術反復練習	

24	オールウェーブセッティング	展示: 国家試験課題全頭技術手順
		実習: 国家試験課題全頭技術反復練習
25	オールウェーブセッティング	展示: 国家試験課題全頭技術手順
		実習: 国家試験課題全頭技術反復練習
26	オールウェーブセッティング	展示: 国家試験課題全頭技術手順
		実習: 国家試験課題全頭技術反復練習
27	オールウェーブセッティング	展示: 国家試験課題全頭技術手順
		実習: 国家試験課題全頭技術反復練習
28	オールウェーブセッティング	展示: 国家試験課題全頭技術手順
		実習: 国家試験課題全頭技術反復練習
29	オールウェーブセッティング	展示: 国家試験課題全頭技術手順
		実習: 国家試験課題全頭技術反復練習
30	オールウェーブセッティング	展示: 国家試験課題全頭技術手順
		実習: 国家試験課題全頭技術反復練習

2020年度 シラバス

開講年度	課程	学科	学年
2020	職業実践専門課程	美容学科	1年前期・後期
科目名	担当教員		時間数
美容実習(ヘアアレンジ)	山本 剛、岩澤 隆弘、渡邊 陽介、鶴田 正和、丸山 美幸、大竹 政明、佐々木 みゆき		54時間(400時間中)
授業科目の学修教育目標			
概要	美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を適宜組合わせて完成させる技術を習得させる。美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせる。個々の客の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせる。		
目標	美容師としての必要な基礎技術を学ぶ。衛生面の技術と知識を身につける。		
成績評価方法	1)成績評価はA～Eの5段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)		
授業の方法と特徴	講義・実習 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。また、担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。		
授業内容			
1	アップスタイル(モヒカスタイル)	展示:アップスタイル技術展示① 実習:アップスタイル反復練習	
2	アップスタイル(モヒカスタイル)	実習:アップスタイル反復練習	
3	アップスタイル(リボンスタイル)	展示:アップスタイル技術展示② 実習:アップスタイル反復練習	
4	アップスタイル(リボンスタイル)	実習:アップスタイル反復練習	
5	アップスタイル(編み込み)	展示:アップスタイル技術展示③ 実習:アップスタイル反復練習	
6	アップスタイル(編み込み)	展示:アップスタイル技術展示③ 実習:アップスタイル反復練習	
7	アイロンセット	展示:各種用具説明、基本技術説明 展示:各種アイロン技術解説 実習:各種アイロン技術	
8	アイロンセット	展示:各種用具説明、基本技術説明 展示:各種アイロン技術解説 実習:各種アイロン技術	
9	アップスタイル	展示:バリエーション① 実習:反復練習	
10	アップスタイル	実習:反復練習	
11	アップスタイル	実習:反復練習	
12	アップスタイル	実習:反復練習	
13	アップスタイル	実習:反復練習	
14	新日本髪	展示:新日本髪手順① 実習:反復練習	
15	新日本髪	展示:新日本髪手順② 実習:反復練習	
16	新日本髪	展示:新日本髪手順③ 実習:反復練習	
17	新日本髪	展示:新日本髪手順④ 実習:反復練習	
18	新日本髪	展示:新日本髪手順⑤ 実習:反復練習	

2020年度 シラバス

開講年度	課程	学科	学年
2020	職業実践専門課程	美容学科	2年前期・後期
科目名	担当教員		時間数
美容実習(ヘアアレンジ)	山本 剛、岩澤 隆弘、渡邊 陽介、鶴田 正和、丸山 美幸、大竹 政明、佐々木 みゆき		56時間(500時間中)
授業科目の学修教育目標			
概要	美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を適宜組合わせて完成させる技術を習得させる。美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせる。個々の客の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせる。		
目標	美容師としての必要な基礎技術を学ぶ。衛生面の技術と知識を身につける。		
成績評価方法	1)成績評価はA～Eの5段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)		
授業の方法と特徴	講義・実習 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。また、担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。		
授業内容			
1	ウェディングスタイル	展示:ウェディングスタイル	実習:ウェディングスタイル反復練習
2	ウェディングスタイル	実習:ウェディングスタイル反復練習	
3	ウェディングスタイル	実習:ウェディングスタイル反復練習	
4	ワンロールスタイル	展示:ワンロールスタイル技術展示	実習:ワンロールスタイルの反復練習
5	ワンロールスタイル	実習:ワンロールスタイルの反復練習	
6	ワンロールスタイル	実習:ワンロールスタイルの反復練習	
7	ボンパドールスタイル	展示:ボンパドールスタイル技術展示	展示:ボンパドールスタイル反復練習
8	ボンパドールスタイル	展示:ボンパドールスタイル反復練習	
9	作品制作	作品制作	
10	作品制作	作品制作	
11	作品制作	作品制作	
12	作品制作	作品制作	
13	作品制作	作品制作	
14	作品制作	作品制作	
15	作品制作	作品制作	

2020年度 シラバス

開講年度	課程	学科	学年
2020	職業実践専門課程	美容学科	1年前期・後期
科目名	担当教員		時間数
美容実習(カラーリング)	山本 剛、岩澤 隆弘、渡邊 陽介、鶴田 正和、丸山 美幸、大竹 政明、佐々木 みゆき		24時間(400時間中)
授業科目の学修教育目標			
概要	美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を適宜組合わせて完成させる技術を習得させる。美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせる。個々の客の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせる。		
目標	美容師としての必要な基礎技術を学ぶ。衛生面の技術と知識を身につける。		
成績評価方法	1)成績評価はA～Eの5段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)		
授業の方法と特徴	講義・実習 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。また、担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。		
授業内容			
1	ヘアカラーリング	展示:カラー剤塗布手順	
		実習:カラー剤塗布練習	
2	ヘアカラーリング	展示:カラー剤塗布手順	
		実習:カラー剤塗布練習	
3	ヘアカラーリング	展示:カラー剤塗布手順	
		実習:カラー剤塗布練習	
4	ヘアカラーリング	展示:アルカリカラー技術手順	
		実習:塗布練習、アルカリカラー技術	
5	ヘアカラーリング	展示:酸性染料技術手順	
		実習:塗布練習、酸性染料技術	
6	ヘアカラーリング	展示:各種塗布技術技術手順	
		実習:塗布練習	

2020年度 シラバス

開講年度	課程	学科	学年
2020	職業実践専門課程	美容学科	2年前期・後期
科目名	担当教員		時間数
美容実習(カラーリング)	山本 剛、岩澤 隆弘、渡邊 陽介、鶴田 正和、丸山 美幸、大竹 政明、佐々木 みゆき		16時間(500時間中)
授業科目の学修教育目標			
概要	美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を適宜組合わせて完成させる技術を習得させる。美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせる。個々の客の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせる。		
目標	美容師としての必要な基礎技術を学ぶ。衛生面の技術と知識を身につける。		
成績評価方法	1)成績評価はA～Eの5段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)		
授業の方法と特徴	講義・実習 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。また、担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。		
授業内容			
1	ヘアカラーリング	展示:カラー剤塗布手順、ホイルの使い方 実習:カラー剤塗布練習、ホイル練習	
2	ヘアカラーリング	展示:カラー剤塗布手順 実習:カラー剤塗布練習、ホイル練習	
3	ヘアカラーリング	展示:人頭レッスン、人頭の注意点カラー剤塗布手順 実習:カラー剤塗布練習	
4	ヘアカラーリング	展示:人頭レッスン、人頭の注意点カラー剤塗布手順 実習:カラー剤塗布練習	

2020年度 シラバス

開講年度	課程	学科	学年
2020	職業実践専門課程	美容学科	2年前期・後期
科目名	担当教員		時間数
美容実習(サロンワーク)	山本 剛、岩澤 隆弘、渡邊 陽介、鶴田 正和、丸山 美幸、大竹 政明、佐々木 みゆき		3時間(500時間中)
授業科目の学修教育目標			
概要	お客様を迎え、案内、施術、見送りといった、美容室での一連の流れを実践する。		
目標	美容師としての必要な基礎技術気遣い等を学ぶ。衛生面も気を付ける。		
成績評価方法	1)成績評価はA～Eの5段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)		
授業の方法と特徴	講義・実習 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。また、担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。		
授業内容			
1	サロンワーク	美容室での一連の流れを実践	

2020年度 シラバス

開講年度	課程	学科	学年
2020	職業実践専門課程	美容学科	2年後期
科目名	担当教員		時間数
美容実習(国試対策)	山本 剛、岩澤 隆弘、渡邊 陽介、鶴田 正和、丸山 美幸、大竹 政明、佐々木 みゆき		280時間(500時間中)
授業科目の学修教育目標			
概要	国家試験合格に向け、集中的に課題に取り組む		
目標	国家試験合格をめざす		
成績評価方法	1)成績評価はA～Eの5段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)		
授業の方法と特徴	講義・実習 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。また、担当教員は、美容師として実務経験があると同時に、国家試験対策授業に携わり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。		
授業内容			
1	国試対策	第1課題、第2課題	
2	国試対策	第1課題、第2課題	
3	国試対策	第1課題、第2課題	
4	国試対策	第1課題、第2課題	
5	国試対策	第1課題、第2課題	
6	国試対策	第1課題、第2課題	
7	国試対策	第1課題、第2課題	
8	国試対策	第1課題、第2課題	
9	国試対策	第1課題、第2課題	
10	国試対策	第1課題、第2課題	
11	国試対策	第1課題、第2課題	
12	国試対策	第1課題、第2課題	
13	国試対策	第1課題、第2課題	
14	国試対策	第1課題、第2課題	
15	国試対策	第1課題、第2課題	
16	国試対策	第1課題、第2課題	
17	国試対策	第1課題、第2課題	
18	国試対策	第1課題、第2課題	
19	国試対策	第1課題、第2課題	
20	国試対策	第1課題、第2課題	
21	国試対策	第1課題、第2課題	
22	国試対策	第1課題、第2課題	
23	国試対策	第1課題、第2課題	
24	国試対策	第1課題、第2課題	

25	国試対策	第1課題、第2課題
26	国試対策	第1課題、第2課題
27	国試対策	第1課題、第2課題
28	国試対策	第1課題、第2課題
29	国試対策	第1課題、第2課題
30	国試対策	第1課題、第2課題
31	国試対策	第1課題、第2課題
32	国試対策	第1課題、第2課題
33	国試対策	第1課題、第2課題
34	国試対策	第1課題、第2課題
35	国試対策	第1課題、第2課題
36	国試対策	第1課題、第2課題
37	国試対策	第1課題、第2課題
38	国試対策	第1課題、第2課題
39	国試対策	第1課題、第2課題
40	国試対策	第1課題、第2課題
41	国試対策	第1課題、第2課題
42	国試対策	第1課題、第2課題
43	国試対策	第1課題、第2課題
44	国試対策	第1課題、第2課題
45	国試対策	第1課題、第2課題
46	国試対策	第1課題、第2課題
47	国試対策	第1課題、第2課題
48	国試対策	第1課題、第2課題
49	国試対策	第1課題、第2課題
50	国試対策	第1課題、第2課題
51	国試対策	第1課題、第2課題
52	国試対策	第1課題、第2課題
53	国試対策	第1課題、第2課題
54	国試対策	第1課題、第2課題
55	国試対策	第1課題、第2課題

56	国試対策	第1課題、第2課題
57	国試対策	第1課題、第2課題
58	国試対策	第1課題、第2課題
59	国試対策	第1課題、第2課題
60	国試対策	第1課題、第2課題
61	国試対策	第1課題、第2課題
62	国試対策	第1課題、第2課題
63	国試対策	第1課題、第2課題
64	国試対策	第1課題、第2課題
65	国試対策	第1課題、第2課題
66	国試対策	第1課題、第2課題
67	国試対策	第1課題、第2課題
68	国試対策	第1課題、第2課題
69	国試対策	第1課題、第2課題
70	国試対策	第1課題、第2課題
71	国試対策	第1課題、第2課題
72	国試対策	第1課題、第2課題
73	国試対策	第1課題、第2課題
74	国試対策	第1課題、第2課題
75	国試対策	第1課題、第2課題

2020年度 シラバス

開講年度	課程	学科	学年
2020	職業実践専門課程	美容学科	1年前期・後期
科目名	担当教員		時間数
美容総合技術 (ネイル)	島田 優佳、丸山 美幸		52時間(240時間中)
授業科目の学修教育目標			
概要	基本的技術を基に、さらに発展させた高度な技術を身に付けさせるとともに、美容デザインの最新の国際的動向について学ばせること。常に新しい技術の吸収を怠らず、また自らも新しい技術の開発に努める姿勢を習慣付けさせ、専門技術者としての心構えを身に付けさせること。		
目標	美容師としての必要な基礎知識を学ぶ。衛生面の知識を身につける。		
成績評価方法	1)成績評価はA～Eの5段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)		
授業の方法と特徴	講義・実習 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。また、担当教員は、ネイルサロン等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。		
1	ネイル理論、デモンストレーション	ネイルの歴史・ネイル技術体系、爪の構造、ネイルのための生理解剖学 テーブルセッティング	
2	ネイル理論、デモンストレーション	爪の病気とトラブル・消毒法、マッサージ理論・化粧品学(ネイル用化粧品) 手指消毒	
3	ネイル理論、ハンドマッサージ	ネイルカウンセリング・プロフェッショナル、色彩理論、サロン環境・技術理論 ハンドマッサージ	
4	ネイル理論、ハンドマッサージ	蒸しタオルの使い方 ハンドマッサージ	
5	ネイル理論、ネイルケア	ネイルケアデモンストレーション ネイルケア	
6	ネイルケア	プレマニキュア テーブルセッティング、ファイリング、キューティクルクリーン	
7	ネイルケア	カラーリング、フラットアート	
8	ネイルケア	カラーリング、フラットアート	
9	ネイルケア	全行程トレーニング	
10	ネイルケア	全行程トレーニング	
11	ネイルケア	全行程トレーニング(タイムトライアル)	
12	ネイルケア	全行程トレーニング(タイムトライアル)	
13	ネイルケア	全行程トレーニング(タイムトライアル)	

2020年度 シラバス

開講年度	課程	学科	学年
2020	職業実践専門課程	美容学科	1年前期・後期
科目名	担当教員		時間数
美容総合技術 (メイク)	佐藤 祐子		55時間(240時間中)
授業科目の学修教育目標			
概要	基本的技術を基に、さらに発展させた高度な技術を身に付けさせるとともに、美容デザインの最新の国際的動向について学ばせること。常に新しい技術の吸収を怠らず、また自らも新しい技術の開発に努める姿勢を習慣付けさせ、専門技術者としての心構えを身に付けさせること。		
目標	美容師としての必要な基礎知識を学ぶ。衛生面の知識を身につける。		
成績評価方法	1)成績評価はA～Eの5段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)		
授業の方法と特徴	講義・実習 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。また、担当教員は、美容室、映画界等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。		
1	メイク理論、デモンストレーション	顔の構造、立体研究 テーブルセッティング	
2	メイク理論、デモンストレーション	道具の使い方 スキンケア	
3	メイク理論、デモンストレーション	ナチュラルメイク ベースメイク(ファンデーションの種類、色の選ぶ方、塗り方)	
4	メイク理論、デモンストレーション	ナチュラルメイク ファンデーションの種類、色の選ぶ方、塗り方	
5	メイク理論、デモンストレーション	ナチュラルメイク ハイライト、ローライト、カバーホワイト、アクセントカラー	
6	メイク理論、デモンストレーション	ナチュラルメイク アイメイク、アイブロー	
7	メイク理論、デモンストレーション	ナチュラルメイク リップメイク、ブラッシュオンメイク	
8	メイク理論、デモンストレーション	ナチュラルメイク 相モデル	
9	メイク理論、デモンストレーション	ナチュラルメイク 相モデル	
10	メイク理論、デモンストレーション	ナチュラルメイク 相モデル	
11	メイク理論、デモンストレーション	ナチュラルメイク 相モデル	
12	メイク理論、デモンストレーション	ナチュラルメイク 相モデル	
13	メイク理論、デモンストレーション	ナチュラルメイク 相モデル	
14	メイク理論、デモンストレーション	ナチュラルメイク テスト	

2020年度 シラバス

開講年度	課程	学科	学年
2020	職業実践専門課程	美容学科	1年前期・後期
科目名	担当教員		時間数
美容総合技術 (和装)	佐々木 みゆき		23時間(240時間中)
授業科目の学修教育目標			
概要	基本的技術を基に、さらに発展させた高度な技術を身に付けさせる。常に新しい技術の吸収を怠らず、また自らも新しい技術の開発に努める姿勢を習慣付けさせ、専門技術者としての心構えを身に付けさせること。		
目標	美容師としての必要な基礎知識を学ぶ。衛生面の知識を身につける。		
成績評価方法	1)成績評価はA～Eの5段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)		
授業の方法と特徴	講義・実習 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。また、担当教員は、サロン等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。		
1	和装理論、デモンストレーション	和装の特徴 浴衣の着方(自装)	
2	和装理論	浴衣の着方(自装)	
3	和装理論、デモンストレーション	浴衣の着方(女性・他装)	
4	和装理論	浴衣の着方(女性・他装)	
5	和装理論	浴衣の着方(男性・他装)	
6	和装理論、デモンストレーション	変わり帯の結び方	

2020年度 シラバス

開講年度	課程	学科	学年
2020	職業実践専門課程	美容学科	1年前期・後期
科目名	担当教員		時間数
美容総合技術	菅野 みゆき		20時間(240時間中)
授業科目の学修教育目標			
概要	基本的技術を基に、さらに発展させた高度な技術を身に付けさせる。常に新しい技術の吸収を怠らず、また自らも新しい技術の開発に努める姿勢を習慣付けさせ、専門技術者としての心構えを身に付けさせること。		
目標	美容師としての必要な基礎知識を学ぶ。衛生面の知識を身につける。		
成績評価方法	1)成績評価はA～Eの5段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)		
授業の方法と特徴	講義・実習 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。また、担当教員は、マツエクサロンを経営し実務経験も豊かであり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。		
1	マツエク理論、デモンストレーション	まつ毛エクステンションとは まつ毛の周毛期、マツエクの道具、マツエクの衛生と保健	
2	マツエク理論、デモンストレーション	道具の使い方 テーブルセッティング	
3	マツエク理論、デモンストレーション	カウンセリングの重要性 装着練習	
4	マツエク理論、デモンストレーション	用剤の特徴、使用上の注意 装着練習	
5	マツエク理論、デモンストレーション	材料の管理 装着練習	

2020年度 シラバス

開講年度	課程	学科	学年
2020	職業実践専門課程	美容学科	1年前期・後期
科目名	担当教員		時間数
美容総合技術	鶴田 正和		12時間(240時間中)
授業科目の学修教育目標			
概要	基本的技術を基に、さらに発展させた高度な技術を身に付けさせる。常に新しい技術の吸収を怠らず、また自らも新しい技術の開発に努める姿勢を習慣付けさせ、専門技術者としての心構えを身に付けさせること。		
目標	美容師としての必要な基礎知識を学ぶ。衛生面の知識を身につける。		
成績評価方法	1)成績評価はA～Eの5段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)		
授業の方法と特徴	講義・実習 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。また、担当教員は、サロン等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。		
1	利用者への理解	人口動態傾向、障害者体験、バリアフリー、ユニバーサルデザインについて	
2	利用者への技術	ベッドの上でのカット デモンストレーション、相モデル	
3	利用者への技術	ベッドの上でのシャンプー デモンストレーション、相モデル	
4	利用者への技術	ベッドの上でのシャンプー 相モデル	

2020年度 シラバス

開講年度	課程	学科	学年
2020	職業実践専門課程	美容学科	1年前期・後期
科目名	担当教員		時間数
美容総合技術	佐藤 祐子		12時間(240時間中)
授業科目の学修教育目標			
概要	基本的技術を基に、さらに発展させた高度な技術を身に付けさせる。常に新しい技術の吸収を怠らず、また自らも新しい技術の開発に努める姿勢を習慣付けさせ、専門技術者としての心構えを身に付けさせること。		
目標	美容師としての必要な基礎知識を学ぶ。衛生面の知識を身につける。		
成績評価方法	1)成績評価はA～Eの5段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)		
授業の方法と特徴	講義・実習 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。また、担当教員は、サロン等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。		
1	エステ理論・デモンストレーション	エステティックとは テーブルセッティング、手技練習	
2	エステ理論・デモンストレーション	手技トレーニング、バック・保湿トレーニング	
3	実習	相モデル テーブルセッティング、手技トレーニング、バック・保湿トレーニング	
4	実習	相モデル テーブルセッティング、手技トレーニング、バック・保湿トレーニング	

2020年度 シラバス

開講年度	課程	学科	学年
2020	職業実践専門課程	美容学科	1年前期・後期
科目名	担当教員		時間数
美容総合技術	上月 篤子、久保 菊枝、キムヨンジ、OSSHI		66時間(240時間中)
授業科目の学修教育目標			
概要	美容師の仕事の中には舞台に立つこともある。立居振舞をきれいに見せることも美容の勉強の一つである。体の中から美を意識するための授業を行う。		
目標	身体を動かし、体も心も健康であることが美しさへの第一歩であることを知る。		
成績評価方法	1)成績評価はA～Eの5段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)		
授業の方法と特徴	講義・実技 担当教員は、フィットネスや健康指導員等としての実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。		
1	オリエンテーション	ゲームで自己紹介 フィジカルチェック	
2	ミニボールエクササイズ	良い姿勢の維持に必要な筋肉を刺激する	
3	姿勢と身体の不調 機能解剖学	良い姿勢と悪い姿勢、不良姿勢が身体に及ぼす影響について 美を提供する上で把握しておくことよ、体の仕組みについて勉強する	
4	ダンス基礎	ダンス基礎ストレッチ、筋トレ、コムトビ	
5	J-POP	J-POPにあわせて楽しく体を動かす。	
6	J-POP	J-POPにあわせて楽しく体を動かす。	
7	ミニボールエクササイズ	良い姿勢の維持に必要な筋肉を刺激する	
8	ドッチビー選手権	ドッチビーディスクを使用した、ドッチボール大会	
9	ドッチビー選手権	ドッチビーディスクを使用した、ドッチボール大会	
10	kara-fit	みんなが知ってる曲で体を楽しく動かす。	
11	kara-fit	みんなが知ってる曲で体を楽しく動かす。	
12	J-POP	J-POPにあわせて楽しく体を動かす。	
13	J-POP	J-POPにあわせて楽しく体を動かす。	
14	スタイルアップ・ステージウォーキング	基本姿勢のウォーキングから、ステージウォーキングとしての魅せ方までを練習する	
15	スタイルアップ・ステージウォーキング	基本姿勢のウォーキングから、ステージウォーキングとしての魅せ方までを練習する	
16	ボールゲーム&ミニボールエクササイズ	ミニボールをすようシテの簡単な運動とゲーム形式で行う集中力を高めるエクササイズ	
17	ボールゲーム&ミニボールエクササイズ	ミニボールをすようシテの簡単な運動とゲーム形式で行う集中力を高めるエクササイズ	
18	メンタルトレーニング	目標達成に必要なメンタル面の重要性を学ぶ	
19	K-POP	K-POPにあわせて楽しく体を動かす。	
20	K-POP	K-POPにあわせて楽しく体を動かす。	
21	運動会	簡易的な運動会を実施	
22	運動会	簡易的な運動会を実施	

2020年度 シラバス

開講年度	課程	学科	学年
2020	職業実践専門課程	美容学科	2年前期
科目名	担当教員		時間数
美容総合技術	島倉 優紀、丸山 美幸		45時間(150時間中)
授業科目の学修教育目標			
概要	基本的技術を基に、さらに発展させた高度な技術を身に付けさせるとともに、美容デザインの最新の国際的動向について学ばせること。常に新しい技術の吸収を怠らず、また自らも新しい技術の開発に努める姿勢を習慣付けさせ、専門技術者としての心構えを身に付けさせること。		
目標	美容師としての必要な基礎知識を学ぶ。衛生面の知識を身につける。		
成績評価方法	1)成績評価はA～Eの5段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)		
授業の方法と特徴	講義・実習 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。また、担当教員は、ネイルサロン等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。		
1	ジェルネイルの基礎知識	ジェルネイルの基礎知識	
2	ジェルネイルの手順	ジェルネイルの手順	
3	テーブルセッティング	テーブルセッティング	
4	ジェルカラーリング	ジェルカラーリング	
5	ジェルカラーリング	ジェルカラーリング	
6	ビーコック	ビーコック	
7	検定試験対策	検定試験対策	
8	検定試験対策	検定試験対策	
9	検定試験対策	検定試験対策	
10	検定試験対策	検定試験対策	
11	検定試験対策	検定試験対策	
12	検定試験対策	検定試験対策	
13	検定試験対策	検定試験対策	
14	検定試験対策	検定試験対策	
15	検定試験対策	検定試験対策	

2020年度 シラバス

開講年度	課程	学科	学年
2020	職業実践専門課程	美容学科	2年前期
科目名	担当教員		時間数
美容総合技術	佐藤 祐子		45時間(150時間中)
授業科目の学修教育目標			
概要	基本的技術を基に、さらに発展させた高度な技術を身に付けさせるとともに、美容デザインの最新の国際的動向について学ばせること。常に新しい技術の吸収を怠らず、また自らも新しい技術の開発に努める姿勢を習慣付けさせ、専門技術者としての心構えを身に付けさせること。		
目標	美容師としての必要な基礎知識を学ぶ。衛生面の知識を身につける。		
成績評価方法	1)成績評価はA～Eの5段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)		
授業の方法と特徴	講義・実習 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。また、担当教員は、美容室、映画界等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。		
1	メイク理論、デモンストレーション	歌舞伎メイク 和化粧について、隈取について	
2	メイク理論	歌舞伎メイク 相モデル	
3	メイク理論、デモンストレーション	ダウンメイク ダウンメイクとは	
4	メイク理論	ダウンメイク 相モデル	
5	メイク理論、デモンストレーション	ギャッツメイク 擬人化の表現	
6	メイク理論	ギャッツメイク 相モデル	
7	メイク理論、デモンストレーション	舞台メイク 舞台特有の光と影を計算する	
8	メイク理論	舞台メイク 相モデル	
9	メイク理論、デモンストレーション	ボディメイク 顔とボディの違い	
10	メイク理論	ボディメイク 相モデル	
11	メイク理論、デモンストレーション	エアブラシ 特徴、使い方、化粧品の違い	
12	メイク理論、デモンストレーション	エアブラシ エアブラシを使ったいろいろな表現方法、分解・掃除の方法	
13	メイク理論、デモンストレーション	エアブラシ 顔にエアブラシを使って化粧をする	
14	メイク理論	エアブラシ 相モデル	
15	メイク理論	エアブラシ 相モデル	

2020年度 シラバス

開講年度	課程	学科	学年
2020	職業実践専門課程	美容学科	2年前期
科目名	担当教員		時間数
美容総合技術	渡邊 陽介		45時間(150時間中)
授業科目の学修教育目標			
概要	基本的技術を基に、さらに発展させた高度な技術を身に付けさせるとともに、美容デザインの最新の国際的動向について学ばせること。常に新しい技術の吸収を怠らず、また自らも新しい技術の開発に努める姿勢を習慣付けさせ、専門技術者としての心構えを身に付けさせること。		
目標	美容師としての必要な基礎知識を学ぶ。衛生面の知識を身につける。		
成績評価方法	1)成績評価はA～Eの5段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)		
授業の方法と特徴	講義・実習 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。また、担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。		
1	カット理論、デモンストレーション	メンズショート メンズカットの注意点	
2	カット理論	メンズショート	
3	カット理論、デモンストレーション	ショートスタイル パーマの注意点	
4	カット理論	ショートスタイル	
5	カット理論、デモンストレーション	ロングレイヤー 顔周りの印象について	
6	カット理論	ロングレイヤー	
7	カット理論、デモンストレーション	ミディアムウルフ レイヤーの入れ方によるスタイルの違い	
8	カット理論	ミディアムウルフ	
9	カット理論	ミディアムウルフ	
10	カット理論、デモンストレーション	グラデーションボブ 前上がり、前下がりの丸みの違い	
11	カット理論	グラデーションボブ	
12	カット理論	グラデーションボブ	
13	カット理論	学生相モデル 各学生に合わせたスタイリング 鏡を見ながら気遣う	
14	カット理論	学生相モデル	
15	カット理論	学生相モデル	

2020年度 シラバス

開講年度	課程	学科	学年
2020	職業実践専門課程	美容学科	2年前期
科目名	担当教員		時間数
美容総合技術	菅野 みゆき		45時間(150時間中)
授業科目の学修教育目標			
概要	基本的技術を基に、さらに発展させた高度な技術を身に付けさせる。常に新しい技術の吸収を怠らず、また自らも新しい技術の開発に努める姿勢を習慣付けさせ、専門技術者としての心構えを身に付けさせること。		
目標	美容師としての必要な基礎知識を学ぶ。衛生面の知識を身につける。		
成績評価方法	1)成績評価はA～Eの5段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)		
授業の方法と特徴	講義・実習 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。また、担当教員は、マツエクサロンを経営し実務経験も豊かであり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。		
1	マツエク理論、デモンストレーション	マツエクに使用する材料の説明 ウィッグパーツに装着(Jカール)、装着のリムーブ	
2	マツエク理論、デモンストレーション	ウィッグパーツに装着(Jカール)、装着のリムーブ	
3	マツエク理論	ウィッグパーツに装着(Cカール)、装着のリムーブ	
4	マツエク理論	ウィッグパーツに装着(Cカール)、装着のリムーブ	
5	マツエク理論	相モデルでのテーピング、装着(Jカール)、リムーブ	
6	マツエク理論	相モデルでのテーピング、装着(Jカール)、リムーブ	
7	マツエク理論	相モデルでのテーピング、装着(Jカール)、リムーブ	
8	マツエク理論	相モデルでのテーピング、装着(Cカール)、リムーブ	
9	マツエク理論	相モデルでのテーピング、装着(Cカール)、リムーブ	
10	マツエク理論	相モデルでのテーピング、装着(Cカール)、リムーブ	
11	マツエク理論	相モデルでのテーピング、装着(3Dカール)、リムーブ	
12	マツエク理論	相モデルでのテーピング、装着(3Dカール)、リムーブ	
13	マツエク理論	相モデルでのテーピング、装着(Dカール)、リムーブ、カウンセリング	
14	マツエク理論	カウンセリングシート作成、相モデルでのテーピング、装着(カール長さ、ボリューム自由)	
15	マツエク理論	カウンセリングシート作成、相モデルでのテーピング、装着(カール長さ、ボリューム自由)	

2020年度 シラバス

開講年度	課程	学科	学年
2020	職業実践専門課程	美容学科	2年前期
科目名	担当教員		時間数
美容総合技術	鈴木 則子、佐々木 みゆき		45時間(150時間中)
授業科目の学修教育目標			
概要	基本的技術を基に、さらに発展させた高度な技術を身に付けさせる日本の伝統について学ばせること。常に新しい技術の吸収を怠らず、また自らも新しい技術の開発に努める姿勢を習慣付けさせ、専門技術者としての心構えを身に付けさせること。		
目標	美容師としての必要な基礎知識を学ぶ。		
成績評価方法	1)成績評価はA～Eの5段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)		
授業の方法と特徴	講義・実習 細かく技術指導を行う。また、担当教員は、長年美容室を経営し、現在も現役美容師に對し着付けを教える実績を持つ。経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。		
1	着付け理論	補正の目的と説明、補正用具の作成方法の説明、展示と作成	
2	着付け理論	補正用具の作成	
3	着付け理論、デモンストレーション	補正の装着 デモンストレーション、相モデル	
4	着付け理論	補正の装着 相モデル	
5	着付け理論、デモンストレーション	補正～長襦袢 デモンストレーション、相モデル	
6	着付け理論	補正～長襦袢 相モデル	
7	着付け理論、デモンストレーション	補正～長襦袢～留袖 デモンストレーション、相モデル	
8	着付け理論	補正～長襦袢～留袖 相モデル	
9	着付け理論、デモンストレーション	補正～長襦袢～留袖～帯 デモンストレーション、相モデル	
10	着付け理論	補正～長襦袢～留袖～帯 相モデル	
11	着付け理論、デモンストレーション	補正～長襦袢～女袴 デモンストレーション、相モデル	
12	着付け理論	補正～長襦袢～女袴 相モデル	
13	着付け理論	補正～長襦袢～女袴 相モデル	
14	着付け理論、デモンストレーション	補正～長襦袢～女袴 相モデル 男袴展示	
15	着付け理論、デモンストレーション	浴衣 他装、自装	

2020年度 シラバス

開講年度	課程	学科	学年
2020	職業実践専門課程	美容学科	2年前期・後期
科目名	担当教員		時間数
美容総合技術	佐藤 祐子		21時間(150時間中)
授業科目の学修教育目標			
概要	基本的技術を基に、さらに発展させた高度な技術を身に付けさせるとともに、美容デザインの最新の国際的動向について学ばせること。常に新しい技術の吸収を怠らず、また自らも新しい技術の開発に努める姿勢を習慣付けさせ、専門技術者としての心構えを身に付けさせること。		
目標	美容師としての必要な基礎知識を学ぶ。衛生面の知識を身につける。		
成績評価方法	1)成績評価はA～Eの5段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)		
授業の方法と特徴	講義・実習 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。また、担当教員は、美容室、映画界等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。		
1	ナチュラルメイク	復習	
2	メイク応用・デモンストレーション	ビエロメイク	
3	メイク応用・デモンストレーション	宝塚メイク	
4	メイク応用・デモンストレーション	キャッツメイク	
5	メイク応用・デモンストレーション	アザ傷メイク	
6	メイク応用・デモンストレーション	アザ傷メイク	
7	作品発表	作品発表	

2020年度 シラバス

開講年度	課程	学科	学年
2020	職業実践専門課程	美容学科	2年前期・後期
科目名	担当教員		時間数
美容総合技術	矢田部 倫子		21時間(150時間中)
授業科目の学修教育目標			
概要	頭の中にあるデザインをイメージするだけでなく、表現する方法を学ぶ。		
目標	イメージするものを分かりやすく表現する。		
成績評価方法	1)成績評価はA～Eの5段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)		
授業の方法と特徴	講義・実習 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。また、担当教員は美大を卒業し、造形に対する経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。		
1	オリエンテーション	オリエンテーション	
2	顔について	顔の特徴、立体構造	
3	色について	色のバランスを考える	
4	作品制作	作品作りについて デッサン、素材集め	
5	作品制作	作品制作	
6	作品制作	作品制作	
7	作品発表	作品発表	

2020年度 シラバス

開講年度	課程	学科	学年
2020	職業実践専門課程	美容学科	2年前期・後期
科目名	担当教員		時間数
美容総合技術	加代 光雄		18時間(150時間中)
授業科目の学修教育目標			
概要	頭の中にあるデザインをイメージするだけでなく、表現する方法を学ぶ。		
目標	デザインを表現する方法と見栄えのよい描き方を習得する。		
成績評価方法	1)成績評価はA～Eの5段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)		
授業の方法と特徴	講義・実習 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。また、担当教員は、デザイン画のアトリエを持ち、他のデザイン学校でも教えており、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。		
1	顔の描き方	顔の描き方	
		鉛筆について 消しゴムの使い方	
2	顔の描き方	顔の描き方	
3	全身のスタイル画	スタイル画	
4	全身のスタイル画	スタイル画	
5	全身のスタイル画	スタイル画	
6	作品発表	作品発表	